

事務事業一覧表

施策コード	事業名称	部局名	所属名	ページ
31311	農業振興団体等負担金事業	農林水産部	農林水産振興課	2
31311	愛媛県農業共済組合運営費補助金	農林水産部	農林水産振興課	3
31311	経営所得安定対策等推進事業	農林水産部	農林水産振興課	4
31311	経営所得安定対策等推進事業(水田農業競争力強化支援事業)	農林水産部	農林水産振興課	5
31311	経営所得安定対策等推進事業(野菜・花き等産地供給力強化支援事業)	農林水産部	農林水産振興課	6
31311	環境保全型農業直接支援対策事業	農林水産部	農林水産振興課	7
31311	環境保全型農業直接支援対策事業(有機野菜等面積拡大支援事業)	農林水産部	農林水産振興課	8
31311	有害鳥獣捕獲緊急対策事業(鳥獣被害防止施設等資材購入費補助金)	農林水産部	農林水産振興課	9
31311	有害鳥獣捕獲緊急対策事業(狩猟免許取得補助金)	農林水産部	農林水産振興課	10
31311	有害鳥獣捕獲緊急対策事業(モンキードッグ導入事業(育成・活動支援))	農林水産部	農林水産振興課	11
31311	有害鳥獣捕獲緊急対策事業(鳥獣被害防止総合対策事業)	農林水産部	農林水産振興課	12
31311	有害鳥獣捕獲緊急対策事業(鳥獣に強い集落づくり活動支援事業)	農林水産部	農林水産振興課	13
31311	農業用廃プラスチック適正処理推進協議会補助金	農林水産部	農林水産振興課	14
31311	流通販売促進事業(まつやま農林水産物ブランド化推進協議会補助等)	農林水産部	農林水産振興課	15
31311	未来型果樹産地強化支援事業	農林水産部	農林水産振興課	16
31311	産地生産基盤パワーアップ事業	農林水産部	農林水産振興課	17
31311	農業指導センター運営管理事業	農林水産部	農林水産振興課	18
31311	研究指導事業	農林水産部	農林水産振興課	19
31311	畜産振興事業	農林水産部	農林水産振興課	20
31311	畜産配合飼料価格高騰対策支援事業	農林水産部	農林水産振興課	21
31312	中山間地域等直接支払推進事業	農林水産部	農林水産振興課	22
31312	農振整備計画管理事業	農林水産部	農林水産振興課	23
31312	農業型地域おこし推進事業	農林水産部	農林水産振興課	24
31312	水田農業担い手支援事業(農地利用集積奨励金)	農林水産部	農林水産振興課	25
31312	新規就農者定着支援事業	農林水産部	農林水産振興課	26
31312	農地集積・集約化対策事業	農林水産部	農林水産振興課	27
31312	農業後継者対策事業(農林漁業就業促進事業)	農林水産部	農林水産振興課	28
31312	農業後継者対策事業(担い手総合支援事業)	農林水産部	農林水産振興課	29
31312	農業後継者対策事業(農業後継者育成対策事業)	農林水産部	農林水産振興課	30
31312	担い手等経営発展支援事業(認定農業者活動補助金)	農林水産部	農林水産振興課	31
31312	担い手等経営発展支援事業(地域計画策定)	農林水産部	農林水産振興課	32
31312	担い手等経営発展支援事業(農業経営対策推進事業)	農林水産部	農林水産振興課	33
31312	担い手等経営発展支援事業(農業関係資金利子補給事業)	農林水産部	農林水産振興課	34
31312	担い手等経営発展支援事業(経営継承・発展等支援事業)	農林水産部	農林水産振興課	35
31312	荒廃農地再生利用事業	農林水産部	農林水産振興課	36
31312	スマート農機等導入推進事業	農林水産部	農林水産振興課	37
31312	まつやま農業未来人材投資事業	農林水産部	農林水産振興課	38
31314	流通販売促進事業(まつやま農林水産まつり実行委員会補助)	農林水産部	農林水産振興課	39
31315	漁場整備事業(タコ産卵増殖)	農林水産部	農林水産振興課	40
31315	漁場整備事業(栽培漁業推進)	農林水産部	農林水産振興課	41
31315	漁場整備事業(市単独漁場造成)	農林水産部	農林水産振興課	42
31315	漁場整備事業(水産資源保護育成事業補助金)	農林水産部	農林水産振興課	43
31315	漁場整備事業(水産多面的機能発揮対策事業費補助金)	農林水産部	農林水産振興課	44
31315	水産団体等支援事業(漁船船主責任保険利用推進事業補助金)	農林水産部	農林水産振興課	45
31315	水産団体等支援事業(漁業振興団体負担金)	農林水産部	農林水産振興課	46
31315	水産団体等支援事業(松山市漁業連合協議会補助金)	農林水産部	農林水産振興課	47
31315	水産団体等支援事業(漁業近代化資金等利子補給金)	農林水産部	農林水産振興課	48
31315	水産基盤整備事業(魚礁施設)	農林水産部	農林水産振興課	49
31315	離島漁業再生支援交付金事業	農林水産部	農林水産振興課	50
31315	新規漁業就業者育成強化事業	農林水産部	農林水産振興課	51
31316	新たな水源かん養林事業	農林水産部	農林水産振興課	52
31316	林業振興団体負担金事業	農林水産部	農林水産振興課	53
31316	林業経営体指導事業	農林水産部	農林水産振興課	54
31316	流域森林総合整備事業	農林水産部	農林水産振興課	55
31316	新たな森林経営管理制度推進事業	農林水産部	農林水産振興課	56
31316	森林環境整備基金積立事業	農林水産部	農林水産振興課	57
31316	森林・山村多面的機能発揮対策事業	農林水産部	農林水産振興課	58
31316	市有林保育・管理事業	農林水産部	農林水産振興課	59
31316	全国植樹祭開催事業	農林水産部	農林水産振興課	60
31322	農業施設等維持管理事業	農林水産部	農林水産振興課	61

令和7年度 松山市事務事業シート（令和6年度実績分）

部局等名	農林水産部	課等名	農林水産振興課	担当G	総務・水産担当	連絡先	948-6492
------	-------	-----	---------	-----	---------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	農業振興団体等負担金事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	5:補助金・負担金	
31311							
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	暮らしを支える地域経済を活性化する						
施策	農林水産業の活性化		-	-	-	-	
主な取組	持続可能な農林水産業の構築	根拠法令					
取組みの柱	安定生産と高品質化・高付加価値化等の推進						
目的・背景	本市と緊密な関係にある団体に対して、諸活動を展開する活動費の一部を負担することが、本市の一次産業の振興に貢献することから、事業を開始したもの。						
対象・内容	各団体へ負担金を支出するほか、総会等に参加して意見交換、情報共有など行う。 <対象団体> 松山地区農業改良普及事業推進協議会 全国山村振興連盟愛媛県支部 えひめ中央地区農業用廃プラスチック適正処理推進協議会 松山地区農業用廃プラスチック適正処理推進協議会 えひめ愛フード推進機構 愛媛県グリーン・ツーリズム推進協議会						

2. 事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	農林水産業費	項	農業費	目	農業振興費
事業費/財源		令和5年度	令和6年度	令和7年度					
予算 (千円)	事業費計	520	516	520		主な経費 (千円) 【R6 決算】	各団体への補助金		516
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	520	516	520					
決算 (千円)	事業費計	516	516			主な取組 内容 【R6】	団体の活動費の一部負担を継続することで、持続的な農林水産業の構築を図った。		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	516	516						
	(執行率)	99%	100%						
人役	正規職員	0.1	0.1	0.1		特記 事項			
	その他								
	合計	0.1	0.1	0.1					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和6年度)	
	目指す方向性	単位							
活動 指標	事業内容の精査	目標	6	6	6	6	持続的な農林類産業の構築が図られていたことを、事業内容や予算執行で確認できたため。		
		実績	6	6					
	現状維持	回	達成率	100%	100%				
		目標							
		実績							
		達成率							
事業 評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	本市と緊密な関係にある団体の活動費の一部負担することで、持続的な農林水産業の構築を図ることができた。							
課題	特に無し			今後の 方向性	現行のまま継続	左記の 理由	団体の活動費の一部負担を継続することで、持続的な農林水産業の構築を図る。		

令和7年度 松山市事務事業シート（令和6年度実績分）

部局等名	農林水産部	課等名	農林水産振興課	担当G	総務・水産担当	連絡先	948-6564
------	-------	-----	---------	-----	---------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	愛媛県農業共済組合運営費補助金		事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	5:補助金・負担金	
31311								
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	暮らしを支える地域経済を活性化させる							
施策	農林水産業の活性化			-	-	-	-	
主な取組	持続可能な農林水産業の構築		根拠法令					
取組みの柱	安定生産と高品質化・高付加価値化等の推進							
目的・背景	愛媛県農業共済組合に補助金を支出することで組合運営を強化し災害に強い産地づくりに貢献する。組合は農業保険法に基づく農業共済事業を実施しており、本市としても農作物等の安定供給を推進するために補助することとした。							
対象・内容	愛媛県農業共済組合へ、運営費を補助することで、農業共済事業の充実と強化を図る。組合では、農作物(水稲・麦・大豆など)をはじめ、以下の7事業について、自然災害等による損害を補てんしている。 1 農作物共済 2 家畜共済 3 果樹共済 4 畑作物共済 5 園芸施設共済 6 建物共済 7 農機具共済							

2. 事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	農林水産業費	項	農業費	目	農業振興費
事業費/財源		令和5年度	令和6年度	令和7年度					
予算 (千円)	事業費計	888	888	888		主な経費 (千円) 【R6 決算】	組合への補助金		888
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	888	888	888					
決算 (千円)	事業費計	888	888			主な取組 内容 【R6】	運営費を補助することで、農業共済事業の充実と強化を図った。		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	888	888						
	(執行率)	100%	100%						
人役	正規職員	0.1	0.1	0.1		特記 事項			
	その他								
	合計	0.1	0.1	0.1					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和6年度)
	目指す方向性	単位						
活動 指標	事業実施状況の確認	目標	1	1	1	1	農業共済事業の充実と強化が図れていたことを事業内容や予算執行で確認できたため。	
		実績	1	1				
	現状維持	回	達成率	100%	100%			
		目標						
		実績						
		達成率						
事業 評価	評価	期待した成果をあげることができた。						
	理由	運営費を補助することで、農業共済事業の充実と強化が図れたため。						
課題	特に無し			今後の 方向性	現行のまま継続	左記の 理由	運営費を補助することで、農業共済事業の充実と強化を図る。	

令和7年度 松山市事務事業シート（令和6年度実績分）

部局等名	農林水産部	課等名	農林水産振興課	担当G	農振農用地・中間管理・生産支援担当	連絡先	948-6568
------	-------	-----	---------	-----	-------------------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	経営所得安定対策等推進事業		事業性質	1-2:自治事務(できる規定あり)		事業区分	5:補助金・負担金	
31311								
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	暮らしを支える地域経済を活性化する			-	-	-	-	
施策	農林水産業の活性化							
主な取組	持続可能な農林水産業の構築		根拠法令	経営所得安定対策等実施要綱、松山市経営所得安定対策等推進事業実施要領、松山市経営所得安定対策等推進事業費補助金交付要綱等				
取組みの柱	安定生産と高品質化・高付加価値化等の推進							
目的・背景	<p>(背景)国が農業者戸別所得補償制度を本格実施したことを契機に、平成23年度から実施している。また、昭和45年から始まった米の生産調整対策事業を推進している。</p> <p>(目的)水田活用の直接支払交付金、畑作物の直接支払交付金等による支援によって、農家の所得向上とともに経営の安定化を図る。</p>							
対象・内容	<p>農家が交付金を受けるための支援や交付金交付のための要件確認等を実施する松山市地域農業再生協議会が対象。松山市地域農業再生協議会の活動を通じて、経営所得安定対策等の周知、適切な交付金交付に向けた要件確認等を実施している。</p> <p>1. 事業周知用パンフレットの作成・配布 2. 制度説明、交付申請書の作成指導、受付 3. 現地確認、要件確認等の実施及び取りまとめと国、県への報告</p>							

2. 事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	農林水産業費	項	農業費	目	農業振興費	
事業費/財源		令和5年度	令和6年度	令和7年度		主な経費(千円)【R6決算】	松山市地域農業再生協議会への補助金	3,757		
予算(千円)	事業費計	4,300	4,300	4,300						
	国費・県費	4,300	4,300	4,300						
	市債									
	その他									
一般財源										
決算(千円)	事業費計	3,872	3,757			主な取組内容【R6】	松山市地域農業再生協議会による取組・事業周知用パンフレットの作成・配布・制度説明、交付申請書の作成指導、受付・現地確認、要件確認等の実施及び取りまとめと国、県への報告			
	国費・県費	3,872	3,757							
	市債									
	その他									
	一般財源									
(執行率)	90%	87%								
人役	正規職員	2.0	2.0	2.0		特記事項				
	その他									
	合計	2.0	2.0	2.0						

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	目標の達成又は未達成要因の分析(令和6年度)	
	目指す方向性	単位							
成果指標	交付金申請農家数	目標	270	270	270	270	離農により申請が伸びないことが要因と推定される。		
		実績	224	218					
	現状維持	人	達成率	83%	81%				
		目標							
		実績							
		達成率							
事業評価	評価	一部の取組は期待した成果をあげられなかったが、全体としては概ね順調							
	理由	申請者数は目標に届かなかったが、松山市地域農業再生協議会による取組を通じて、農業経営の安定化が図られたため。							
課題	特に無し			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	全体としては概ね順調であるため。		

令和7年度 松山市事務事業シート（令和6年度実績分）

部局等名	農林水産部	課等名	農林水産振興課	担当G	農振農用地・中間管理・生産支援担当	連絡先	948-6568
------	-------	-----	---------	-----	-------------------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	経営所得安定対策等推進事業 (水田農業競争力強化支援事業)		事業 性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業 区分	5:補助金・負担金	
31311								
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】		各種 計画 該当	総合計画 (実施計画)	総合計画 (笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	暮らしを支える地域経済を活性化させる			-	-	-	-	
施策	農林水産業の活性化							
主な取組	持続可能な農林水産業の構築		根拠 法令	水田農業競争力強化支援事業費補助金交付要綱、 水田農業競争力強化支援事業実施要領、 松山市水田農業競争力強化支援事業費補助金交付要綱				
取組みの柱	安定生産と高品質化・高付加価値化等の推進							
目的・背景	(背景)水田農業は、生産者の高齢化や担い手不足等により労働力が低下している中、主食用米需要量の大幅な減少、新品種の生産拡大など取り巻く環境が変化し続けており、情勢の変化に対応できる強い産地づくりが求められている。 (目的)米の品質の向上や、水田での麦・大豆等の生産拡大、地域生産体制の強化などに必要な機械の整備を支援し、作業効率を上げること で本市の水田農業の維持と生産力の強化を目指す。							
対象・内容	農業協同組合、農業法人、営農集団、認定農業者に対して、(1)良食味米の生産性・品質向上、競争力強化に必要な取組、(2)麦・大豆・米(飼料用米等)の生産性向上、規模拡大に必要な取組、(3)水田農業の維持に必要な取組、に必要な機械の導入経費等を補助する。 採択基準として、(1)概ね20ha以上作付の経営規模(中山間地域は、概ね5ha以上作付の経営規模)であること、(2)営農集団の構成員は3戸以上であること、(3)農業法人及び認定農業者は3戸以上から農地を集積していること、(4)機械や施設の整備を補助対象としようとする際は、講習会や販売促進活動なども実施すること、としている。							

2. 事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	農林水産業費	項	農業費	目	農業振興費
事業費/財源		令和5年度	令和6年度	令和7年度					
予算 (千円)	事業費計	6,031	0	0		主な 経費 (千円) 【R6 決算】	-		-
	国費・県費	4,021	-	0			-		-
	市債		-						
	その他		-						
	一般財源	2,010	-	0					-
決算 (千円)	事業費計	5,599	0			主な 取組 内容 【R6】			
	国費・県費	3,733	-						
	市債		-						
	その他		-						
	一般財源	1,866	-						
	(執行率)	93%	0%						
人役	正規職員	0.2	0.2	0.2		特記 事項	R6は要望がなかったため、実施していない。 R7は当初での予算計上なし。		
	その他								
	合計	0.2	0.2	0.2					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和7年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和6年度)
	目指す方向性	単位						
活動 指標	本事業での支援件数	目標	3	5	6	6	R6は要望がなかったため、目標未達成となった。	
		実績	4	0				
	累計で増	件	達成率	133%	0%			
		目標						
		実績						
		達成率						
事業 評価	評価	その他						
	理由	要望があれば的確に捉え、必要な支援を行っているため。						
課題	特に無し			今後の 方向性	現行のまま継続	左記の 理由	期待した成果をあげることができているため。	

令和7年度 松山市事務事業シート（令和6年度実績分）

部局等名	農林水産部	課等名	農林水産振興課	担当G	農振農用地・中間管理・生産支援担当	連絡先	948-6568
------	-------	-----	---------	-----	-------------------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	経営所得安定対策等推進事業 (野菜・花き等産地供給力強化支援事業)		事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	5:補助金・負担金	
31311								
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	暮らしを支える地域経済を活性化させる			-	-	-	-	
施策	農林水産業の活性化			-	-	-	-	
主な取組	持続可能な農林水産業の構築		根拠法令	野菜・花き等産地供給力強化支援事業費補助金交付要綱、野菜・花き等産地供給力強化支援事業実施要領、松山市野菜・花き等産地供給力強化支援事業費補助金交付要綱				
取組みの柱	安定生産と高品質化・高付加価値化等の推進							
目的・背景	(背景)本市の野菜・花きの生産では、担い手の減少・高齢化による生産基盤の脆弱化に加え、機械化の遅れなどにより、産地としての供給力の低下が問題となっている。 (目的)野菜・花きの生産に必要な機械の整備を支援することで、作業効率等の向上により生産拡大を目指す。							
対象・内容	農事組合法人、農事組合法人以外の農地所有適格法人、農業協同組合、生産集団に対して、(1)きゅうりの長期かつ安定した出荷の体制の確立に必要な施設等の導入、(2)さといもの生産の拡大を図るための省力化機械等の導入、(3)各地域で将来的に振興を図っていく品目への転換等に必要な機械施設等の導入、に必要な経費等を補助する。 採択基準として、(1)受益農家が3戸以上であること、(2)「さといもの生産の拡大を図るための省力化機械等の導入」の事業を実施する場合にあっては、目標として設定する受益地が概ね1ヘクタール以上であること、(3)産地戦略品目支援の対象となる品目は、愛媛県の野菜・花き振興計画(令和3年4月30日策定愛媛県計画)で定める主要振興品目とすること、としている。							

2. 事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	農林水産業費	項	農業費	目	農業振興費
事業費/財源		令和5年度	令和6年度	令和7年度		主な経費(千円)【R6決算】	さといもの農作業の省力化を促進する機械の導入への補助金		2,113
予算(千円)	事業費計	1,014	4,023	0					
	国費・県費	676	2,682						
	市債								
	その他								
	一般財源	338	1,341						
決算(千円)	事業費計	690	2,113			主な取組内容【R6】	さといもの農作業の省力化を促進する機械を、農家が導入することを支援した。		
	国費・県費	460	1,409						
	市債								
	その他								
	一般財源	230	704						
	(執行率)	68%	53%						
人役	正規職員	0.2	0.2	0.2		特記事項	R7は当初での予算計上なし。 R6の執行率については、申請の取り下げがあったから。		
	その他								
	合計	0.2	0.2	0.2					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和7年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和6年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	本事業での支援件数	目標	3	4	5	5	当該年度に予定していた支援件数分を支援することができた。		
		実績	2	3					
	累計で増	件	達成率	67%	75%				
		目標							
		実績							
		達成率							
事業評価	評価	一部の取組は期待した成果をあげられなかったが、全体としては概ね順調							
	理由	累積の支援件数は目標に届かなかったが、要望を的確に捉え、必要な支援を行うことができたため。							
課題	特に無し			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	全体としては概ね順調であるため。		

令和7年度 松山市事務事業シート（令和6年度実績分）

部局等名	農林水産部	課等名	農林水産振興課	担当G	農振農用地・中間管理・生産支援担当	連絡先	948-6568
------	-------	-----	---------	-----	-------------------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	環境保全型農業直接支援対策事業		事業性質	1-2:自治事務(できる規定あり)		事業区分	5:補助金・負担金	
31311								
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	暮らしを支える地域経済を活性化させる							
施策	農林水産業の活性化			-	-	-	-	
主な取組	持続可能な農林水産業の構築		根拠法令	農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する法律				
取組みの柱	安定生産と高品質化・高付加価値化等の推進							
目的・背景	<p>(背景)平成19年度から農地・水・環境保全向上対策として、地域ぐるみで化学肥料及び化学合成農薬の使用を5割以上低減する取組に対する支援を実施。平成23年度には、化学肥料及び化学合成農薬の使用を5割以上低減する取組とセットで、地球温暖化防止や生物多様性保全に効果の高い営農活動に対する支援を行う環境保全型農業直接支援対策を創設。平成26年度に、農業、農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るため日本型直接支払制度として位置付け、平成27年度から法制化。</p> <p>(目的)有機農業や、減農薬・減化学肥料と併せた草生栽培等、地球温暖化防止や生物多様性保全に効果が高い営農活動の推進。</p>							
対象・内容	<p>松山市内の農地で有機農業や減農薬・減化学肥料と併せた草生栽培等の環境保全に効果が高い営農活動(栽培から販売まで)を実施している農家団体に対し補助金を交付するもの。主な単価は有機農業の取組で、10aあたり14,000円。</p> <p>(有機農業の取組について、平成27年度から令和元年度までは交付単価が10aあたり8,000円、令和2年度から令和6年度まで10aあたり12,000円であったが、令和7年度から10aあたり14,000円に増額)</p>							

2.事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	農林水産業費	項	農業費	目	農業振興費	
事業費/財源		令和5年度	令和6年度	令和7年度		主な経費(千円)【R6決算】	有機農業の取組への補助金		3,482	
予算(千円)	事業費計	3,053	3,772	6,851						
	国費・県費	2,289	2,829	5,137						
	市債									
	その他									
	一般財源	764	943	1,714						
決算(千円)	事業費計	2,961	3,482			主な取組内容【R6】	有機農業に取り組む3団体に補助を行った(対象面積2,826a)。			
	国費・県費	2,221	2,611							
	市債									
	その他									
	一般財源	740	871							
	(執行率)	97%	92%							
人役	正規職員	0.2	0.2	0.2		特記事項				
	その他									
	合計	0.2	0.2	0.2						

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	目標の達成又は未達成要因の分析(令和6年度)	
	目指す方向性	単位							
成果指標	対象面積		目標	2355	2468	2826	2826	要望に基づき、必要な支援を行っているため。	
			実績	2468	2826				
	現状維持	a	達成率	105%	115%				
			目標						
			実績						
			達成率						
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	要望に基づき、必要な支援を行っているため。							
課題	特に無し			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	全体としては概ね順調であるため。		

令和7年度 松山市事務事業シート（令和6年度実績分）

部局等名	農林水産部	課等名	農林水産振興課	担当G	農振農用地・中間管理・生産支援担当	連絡先	948-6568
------	-------	-----	---------	-----	-------------------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	環境保全型農業直接支援対策事業 (有機野菜等面積拡大支援事業)		事業 性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業 区分	5:補助金・負担金	
31311								
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】		各種 計画 該当	総合計画 (実施計画)	総合計画 (笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	暮らしを支える地域経済を活性化する							
施策	農林水産業の活性化			-	-	-	-	
主な取組	持続可能な農林水産業の構築		根拠 法令	有機野菜等面積拡大支援事業費補助金交付要綱、 有機野菜等面積拡大支援事業実施要領、松山市有機野菜等面積 拡大支援事業費補助金交付要綱				
取組みの柱	安定生産と高品質化・高付加価値化等の推進							
目的・背景	(背景)愛媛県と県内20市町は、化学肥料や化学農薬の削減による環境への負荷の低減などにより、持続可能な農業を推進するため、「愛媛県みどりの食料システム基本計画」を令和5年3月に策定し、有機農業の取組面積の拡大などに関する数値目標を定めた。 (目的)農作業の省力化となる農業機械の導入を支援することで、有機農業の取組面積の拡大を目指す。							
対象・内容	有機農業に取り組んでいる農業者に対して、有機農家の取組面積の拡大に資する農業機械の導入に必要な経費等を補助する。 また、(1)有機JAS認証農業者であること、(2)エコえひめ農産物農薬・化学肥料不使用認証事業者であること、(3)有機農業の計画でエコ ファーマー認定を受けた者であること、(4)年度内に(1)(2)の認証、(3)の認定のいずれかを受けることが確実な者であること、のいずれか を満たすことを事業実施主体の要件としている。							

2. 事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	農林水産業費	項	農業費	目	農業振興費
事業費/財源		令和5年度	令和6年度	令和7年度		主な 経費 (千円) 【R6 決算】	有機農業の省力化を促進 する機械の導入への補助 金		5,407
予算 (千円)	事業費計	0	7,802	0					
	国費・県費	-	5,202						
	市債	-							
	その他	-							
	一般財源	-	2,600						
決算 (千円)	事業費計	0	5,407			主な 取組 内容 【R6】	有機農業の省力化を促進する機械を、農家 が導入することを支援した。		
	国費・県費	-	3,605						
	市債	-							
	その他	-							
	一般財源	-	1,802						
	(執行率)	0%	69%						
人役	正規職員	0.2	0.2	0.2		特記 事項	R7は当初での予算計上なし。		
	その他								
	合計	0.2	0.2	0.2					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和7年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和6年度)	
	目指す方向性	単位							
活動 指標	本事業での支援件数	目標	-	4	8	8	要望に基づき、必要な支援を行っている ため。		
		実績	-	4					
	累計で増	件	達成率	-	100%				
		目標							
		実績							
		達成率							
事業 評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	要望に基づき、必要な支援を行っているため。							
課題	特に無し			今後の 方向性	現行のまま継続	左記の 理由	全体としては概ね順調であるため。		

令和7年度 松山市事務事業シート（令和6年度実績分）

部局等名	農林水産部	課等名	農林水産振興課	担当G	鳥獣対策担当	連絡先	948-6567
------	-------	-----	---------	-----	--------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	有害鳥獣捕獲緊急対策事業 (鳥獣被害防止施設等資材購入費補助金)		事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	5:補助金・負担金	
31311								
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】		各種計画該当	総合計画 (実施計画)	総合計画 (笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	暮らしを支える地域経済を活性化する			○	○	○	○	
施策	農林水産業の活性化							
主な取組	持続可能な農林水産業の構築		根拠法令	松山市鳥獣被害防止施設等資材購入費補助金交付要綱				
取組みの柱	安定生産と高品質化・高付加価値化等の推進							
目的・背景	有害鳥獣による農作物被害が広範囲にわたり深刻化していることから、野生鳥獣の農地等への侵入を防止するための施設(電気柵、金網、トタン板など)を設置するための資材を購入する農業者等に対して補助金を交付することで、施設の設置を推進し、農作物の安全生産を図ることを目的とする。							
対象・内容	電気柵、金網、トタン板などの資材を購入した農業者等に対して、補助金を交付する。 ・個人設置の場合(施設の延長が100メートル以上であること) 認定農業者等…補助対象経費に2分の1を乗じて得た額以内の額。(上限3万円) それ以外の農業者…補助対象経費に3分の1を乗じて得た額以内の額。(上限2万円) ・2戸以上の農業者の共同設置、組織設置の場合(施設の延長が300メートル以上であること) 補助対象経費に2分の1を乗じて得た額以内の額。(上限50万円)							

2. 事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	農林水産業費	項	農業費	目	農業振興費
事業費/財源		令和5年度	令和6年度	令和7年度		主な経費 (千円) 【R6 決算】	鳥獣被害防止施設等資材 購入費補助金		3,108
予算 (千円)	事業費計	5,900	5,900	4,900					
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	5,900	5,900	4,900					
決算 (千円)	事業費計	2,962	3,108			主な取組 内容 【R6】	電気柵、金網、トタン板などの資材を購入した農業者等に対して、補助金を交付した。		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	2,962	3,108						
	(執行率)	50%	53%						
人役	正規職員	1.0	1.0	1.0		特記 事項	申請件数が想定よりも少なかったため。		
	その他								
	合計	1.0	1.0	1.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和7年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和6年度)	
	目指す方向性	単位							
活動 指標	防護柵設置の総延長	目標	35,000	35,000	35,000	35,000	申請件数が想定よりも少なかったため、目標の達成とはならなかった。		
		実績	26,741	18,825					
	単年で増	m	達成率	76%	54%				
成果 指標	有害鳥獣被害面積	目標	10	10	10	10	農家の高齢化等による荒廃農地の増加等に に伴い、野生鳥獣の生息環境が変化し、有 害鳥獣による農作物被害が広範囲にわ たっているため。		
		実績	11	14					
	単年で減	ha	達成率	90%	60%				
事業 評価	評価	一部の取組は期待した成果をあげられなかったが、全体としては概ね順調							
	理由	防護柵設置の総延長の目標達成とはならなかったものの、野生鳥獣の農地等への侵入を防止するための施設の整備が進むことにより、農作物等の被害軽減が図られているため。							
課題	気候の変動や農家の高齢化による荒廃農地の増加等に に伴い、野生鳥獣の生息環境が変化し、有害鳥獣による農作物被害が広範囲にわたっている。			今後の 方向性	現行のまま継続	左記の 理由	野生鳥獣の農地等への侵入を防止するための施設の整備が進むことにより、農作物等の被害軽減が図られているため。		

令和7年度 松山市事務事業シート（令和6年度実績分）

部局等名	農林水産部	課等名	農林水産振興課	担当G	鳥獣対策担当	連絡先	948-6567
------	-------	-----	---------	-----	--------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	有害鳥獣捕獲緊急対策事業 (狩猟免許取得補助金)		事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	5:補助金・負担金	
31311								
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】		各種計画該当	総合計画 (実施計画)	総合計画 (笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	暮らしを支える地域経済を活性化する			○	○	○	○	
施策	農林水産業の活性化							
主な取組	持続可能な農林水産業の構築		根拠法令	松山市狩猟免許取得補助金交付要綱				
取組みの柱	安定生産と高品質化・高付加価値化等の推進							
目的・背景	狩猟者の高齢化が進んでいることから、新規狩猟免許取得者に免許取得費用を助成することで、狩猟者を育成、確保し、有害鳥獣の捕獲活動を円滑かつ継続的に実施することを目的とする。							
対象・内容	新規狩猟免許取得者に狩猟免許の取得に必要な費用の一部を補助する。 ・補助対象者…市内に住所を有し、市内で農業を営んでおり、免許取得後は猟友会に入会し、地域の有害鳥獣の捕獲活動を行う者 ・対象となる狩猟免許…わな猟免許、第一種狩猟免許(装薬銃・空気銃)、第二種狩猟免許(空気銃) ・補助金額…初心者予備講習会受講料及び受講手数料の1/2以内							

2.事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	農林水産業費	項	農業費	目	農業振興費	
事業費/財源		令和5年度	令和6年度	令和7年度						
予算 (千円)	事業費計	60	49	18			主な経費 (千円) 【R6 決算】	狩猟免許取得補助金		0
	国費・県費									
	市債									
	その他									
	一般財源	60	49	18						
決算 (千円)	事業費計	0	0				主な取組 内容 【R6】	R6は申請がなかった。		
	国費・県費									
	市債									
	その他									
	一般財源									
	(執行率)	0%	0%							
人役	正規職員	1.0	1.0	1.0			特記 事項	申請件数が想定よりも少なかったため		
	その他									
	合計	1.0	1.0	1.0						

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和6年度)	
	目指す方向性	単位							
活動 指標	補助金の申請者数		目標	18	18	18	18	申請件数が想定よりも少なかったため、目標の達成とはならなかった。	
	実績			2	2				
	累計で増	人	達成率	0%	0%				
成果 指標	有害町被害面積		目標	10	10	10	10	農家の高齢化等による荒廃農地の増加等に伴い、野生鳥獣の生息環境が変化し、有害鳥獣による農作物被害が広範囲にわたっているため。	
	実績			11	14				
	単年で減	ha	達成率	90%	60%				
事業 評価	評価	取組が期待した成果をあげられず、今後改善が必要							
	理由	補助金申請者数の目標達成とならなかったため。							
課題	狩猟者の高齢化が進んでいる。			今後の 方向性	現行のまま継続	左記の 理由	狩猟免許費用を助成し、狩猟者を育成、確保することで、継続的な有害鳥獣の捕獲活動の実施につながるため。		

令和7年度 松山市事務事業シート（令和6年度実績分）

部局等名	農林水産部	課等名	農林水産振興課	担当G	鳥獣対策担当	連絡先	948-6567
------	-------	-----	---------	-----	--------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	有害鳥獣捕獲緊急対策事業 (モンキードッグ導入事業(育成・活動支援))		事業 性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業 区分	5:補助金・負担金	
31311								
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】		各種 計画 該当	総合計画 (実施計画)	総合計画 (笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	暮らしを支える地域経済を活性化する			○	○	○	○	
施策	農林水産業の活性化							
主な取組	持続可能な農林水産業の構築		根拠 法令	松山市モンキードッグ導入費補助金交付要綱				
取組みの柱	安定生産と高品質化・高付加価値化等の推進							
目的・背景	地域で行うサルの追い払い活動をより効果的・効率的な活動とするため、専門の訓練を受けた犬の導入や活動に対して支援することで、農作物への被害を防止することを目的とする。 野生鳥獣による農作物への被害対策として、捕獲や侵入防止柵の設置を実施しているが、特にサルは捕獲が困難であり、特殊な柵が必要で高価になる。サル対策として効果があるとされている追い払いに取り組む必要がある。							
対象・内容	モンキードッグ飼養者に対し、サルを追い払うための訓練を受けさせる事業(育成事業)及び育成事業により育成したモンキードッグを地域の獣害対策に活用する事業(活用事業)に要した費用を助成する。 【育成事業】上限30万円(1頭につき1回) 【活用事業】上限3万円(1頭につき1年度に1回)							

2. 事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	農林水産業費	項	農業費	目	農業振興費	
事業費/財源		令和5年度	令和6年度	令和7年度						
予算 (千円)	事業費計	510	450	450			主な 経費 (千円) 【R6 決算】	補助金(モンキードッグ活用事業費)	90	
	国費・県費									
	市債									
	その他									
	一般財源	510	450	450						
決算 (千円)	事業費計	90	90				主な 取組 内容 【R6】	モンキードッグの導入により、地域で行うサルの追い払い活動を支援することで、農作物への被害を防止する。		
	国費・県費									
	市債									
	その他									
	一般財源	90	90							
	(執行率)	18%	20%							
人役	正規職員	1.0	1.0	1.0			特記 事項	モンキードッグの新規導入が無く、育成事業費が不用となった。		
	その他									
	合計	1.0	1.0	1.0						

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和6年度)	
	目指す方向性	単位							
活動 指標	モンキードッグの導入	目標	1	1	1	1	モンキードッグの導入を希望する地区がなかった。		
		実績	0	0					
	累計で増	頭	達成率	0%	0%				
成果 指標	有害鳥獣被害面積	目標	10	10	10	10	農家の高齢化等による荒廃農地の増加等に伴い、野生鳥獣の生活環境が変化し、有害鳥獣による農作物被害が広範囲にわたっている。		
		実績	11	14					
	単年で減	ha	達成率	90%	60%				
事業 評価	評価	一部の取組は期待した成果をあげられなかったが、全体としては概ね順調							
	理由	モンキードッグの導入を希望する地区はなかったが、モンキードッグによるサルの追い払いで農作物被害の防止につながったため。							
課題	集落によっては居住者のほとんどが高齢で、新規にモンキードッグの導入を希望する集落がない。			今後の 方向性	現行のまま継続	左記の 理由	モンキードッグによる有害鳥獣対策は有効であるため、今後も導入への啓発を継続しつつ、活動への支援も継続する。		

令和7年度 松山市事務事業シート（令和6年度実績分）

部局等名	農林水産部	課等名	農林水産振興課	担当G	鳥獣対策担当	連絡先	948-6567
------	-------	-----	---------	-----	--------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	有害鳥獣捕獲緊急対策事業 (鳥獣被害防止総合対策事業)	事業 性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業 区分	5:補助金・負担金	
31311						
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】	各種 計画 該当	総合計画 (実施計画)	総合計画 (笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約
政策	暮らしを支える地域経済を活性化する		○	○	○	○
施策	農林水産業の活性化					
主な取組	持続可能な農林水産業の構築	根拠 法令	鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律、鳥獣による農林水産業に係る被害の防止のための特別措置に関する法律、松山市鳥獣被害防止計画、松山市鳥獣被害防止総合対策事業実施要領			
取組みの柱	安定生産と高品質化・高付加価値化等の推進					
目的・背景	気候の変動や過疎化、高齢化等により、中山間地域・島しょ部を中心に、有害鳥獣による農作物被害が深刻な課題となっている。有害鳥獣による農作物被害は、被害農家の所得低迷や生産意欲の減退による耕作放棄地の増加を招き、農業振興の大きな阻害要因となっている。市、地域住民、関係機関が連携・協力し、市の有害鳥獣捕獲許可に基づく捕獲活動への助成や捕獲資材(箱わな等)の設置等により、有害鳥獣による農作物被害の防止を推進することを目的とする。					
対象・内容	事業実施主体である松山市鳥獣被害防止対策協議会に補助金を交付し、下記の取組を行う。【内容】・有害鳥獣捕獲隊が行う捕獲活動への助成(補助率 国定額)・捕獲資材(箱わな)、鳥獣感知センサーの導入経費(補助率 国1/2)・中島地区で捕獲したイノシシの処分経費(補助率 国1/2)					

2. 事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	農林水産業費	項	農業費	目	農業振興費
事業費/財源		令和5年度	令和6年度	令和7年度					
予算 (千円)	事業費計	28,430	31,781	27,965			主な 経費 (千円) 【R6 決算】	協議会への補助金	25,098
	国費・県費	27,498	30,885	26,751					
	市債								
	その他								
	一般財源	932	896	1,214					
決算 (千円)	事業費計	20,338	26,059				主な 取組 内容 【R6】	事業実施主体である松山市鳥獣被害防止対策協議会に補助金を交付し、有害鳥獣捕獲隊の捕獲活動への助成や捕獲資材(箱わな等)の導入、中島地区で捕獲したイノシシの運搬・焼却処分等を行った。	
	国費・県費	18,991	25,098						
	市債								
	その他								
	一般財源	1,347	961						
(執行率)	72%	82%							
人役	正規職員	1.0	1.0	1.0			特記 事項		
	その他								
	合計	1.0	1.0	1.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和6年度)	
	目指す方向性	単位							
活動 指標	捕獲許可に基づく有害鳥獣捕獲頭数(イノシシ)	目標	2500	2500	2500	2500	前年度に引き続き松山市鳥獣被害防止計画に基づく有害鳥獣捕獲目標値を上回った。		
		実績	2534	3788					
	単年で増	頭	達成率	101%	152%				
活動 指標	有害鳥獣被害面積	目標	10	10	10	10	気候変動や荒廃農地の増加等に伴い、野生鳥獣の生活環境が変化し、有害鳥獣による農作物被害が広範囲にわたっているため。		
		実績	11	14					
	単年で減	ha	達成率	90%	60%				
事業 評価	評価	一部の取組は期待した成果をあげられなかったが、全体としては概ね順調							
	理由	前年度に引き続き松山市鳥獣被害防止計画に基づく有害鳥獣捕獲目標値を上回ったが、気候変動や荒廃農地の増加等に伴い、野生鳥獣の生活環境が変化し、有害鳥獣による農作物被害が広範囲にわたっているため。							
課題	捕獲許可に基づく有害鳥獣捕獲頭数は、松山市鳥獣被害防止計画の目標を上回っているが、気候変動や荒廃農地の増加等に伴い、野生鳥獣の生活環境が変化し、有害鳥獣による農作物被害が広範囲にわたっている。			今後の 方向性	現行のまま継続	左記の 理由	行政、地域、関係機関が一体となった総合的な鳥獣被害防止対策を引き続き推進し、農作物被害の更なる減少を目指す。		

令和7年度 松山市事務事業シート（令和6年度実績分）

部局等名	農林水産部	課等名	農林水産振興課	担当G	鳥獣対策担当	連絡先	948-6567
------	-------	-----	---------	-----	--------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	有害鳥獣捕獲緊急対策事業 (鳥獣に強い集落づくり活動支援事業)		事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	5:補助金・負担金	
31311								
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	暮らしを支える地域経済を活性化する			○	○	○	○	
施策	農林水産業の活性化							
主な取組	持続可能な農林水産業の構築		根拠法令	松山市鳥獣に強い集落づくり活動支援補助金交付要綱				
取組みの柱	安定生産と高品質化・高付加価値化等の推進							
目的・背景	地域住民が主体となって行う「動物駆逐用火火」を用いたサルの追い払い活動に対し、花火の購入費等への補助金を交付することで、追い払い活動の継続的な実施を支援し、サルによる農作物への被害を防止することを目的とする。 平成29年度から実施した「鳥獣に強い集落づくり支援モデル事業」の中で、伊台実川地区で実施した「動物駆逐用火火」を用いた追い払い活動が、サルによる農作物被害の減少に大きな成果があったことから、同活動を継続支援するとともに、新たにサルの被害がある地区に広めていくこととした。							
対象・内容	動物駆逐用火火を用いたサルの追い払い活動を行う集落に対して、花火の購入費等を補助する。 ・補助金額…補助対象経費の1/2以内(上限25万円)							

2.事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	農林水産業費	項	農業費	目	農業振興費
事業費/財源		令和5年度	令和6年度	令和7年度		主な経費(千円)【R6決算】	補助金(鳥獣に強い集落づくり活動事業費)		0
予算(千円)	事業費計	300	300	300					
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	300	300	300					
決算(千円)	事業費計	0	0			主な取組内容【R6】	動物駆逐用火火を用いたサルの追い払い活動を行ったが、花火を追加購入しなかった。		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	0	0						
	(執行率)	0%	0%						
人役	正規職員					特記事項	新たに事業実施を希望する地区がなかった。		
	その他								
	合計	0.0	0.0	0.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和6年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	事業実施地区数		目標	3	3	3	3	煙火による追い払いを行うほどのサルの出没が無かった。	
			実績	0	1				
	単年で増	地区	達成率	0%	33%				
成果指標	有害鳥獣被害面積		目標	10	10	10	10	農家の高齢化等による荒廃農地の増加等に伴い、野生鳥獣の生息環境が変化し、有害鳥獣による農作物被害が広範囲にわたっているため。	
			実績	11	14				
	単年で減	ha	達成率	90%	60%				
事業評価	評価	その他							
	理由	新たに事業実施を希望する地区が無かった。また、令和6年度は、動物駆逐用火火使用でのサルの追い払いを実施したが、花火の在庫があったため、事業申請をしていない。サルの農作物被害の防止策としては有効であることから、今後改善の必要性について検証する必要がある。							
課題	農家の高齢化等に伴い、新たに事業実施を希望する地区が少なくなっている。			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	動物駆逐用火火を用いた追い払い活動を行う地区が増えることで、サルによる農作物被害の軽減につながるため。		

令和7年度 松山市事務事業シート（令和6年度実績分）

部局等名	農林水産部	課等名	農林水産振興課	担当G	総務・水産担当	連絡先	948-6492
------	-------	-----	---------	-----	---------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	農業用廃プラスチック適正処理推進協議会補助金	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	5:補助金・負担金	
31311						
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約
政策	暮らしを支える地域経済を活性化させる					
施策	農林水産業の活性化		-	-	-	-
主な取組	持続可能な農林水産業の構築	根拠法令	松山市農業用廃プラスチック処理事業費補助金交付要綱、農業用廃プラスチック処理事業実施要領			
取組みの柱	安定生産と高品質化・高付加価値化等の推進					
目的・背景	「えひめ中央地区農業用廃プラスチック適正処理推進協議会」(事務局:えひめ中央農協)・「松山地区農業用廃プラスチック適正処理推進協議会」(事務局:松山市農協)は、使用済農業生産資材をリサイクルするため、処理業者に委託して農業用廃プラスチックを適正処理している。本市は、農村の環境保全及び施設園芸の健全な発展を推進する立場から、2団体へ事業推進に向けた補助を行い、協議会運営の充実強化を図るとともに、廃プラスチック処理にかかる農家負担を軽減する。					
対象・内容	農家所得の向上につながるハウス施設の整備を積極的に推進しているが、あわせて農家負担となっている農業用廃プラスチックの適正な処理も行う必要があり、農業用廃プラスチック協議会に対して補助金を支出するものである。 ・えひめ中央地区農業用廃プラスチック適正処理推進協議会(事務局:えひめ中央農業協同組合) ・松山地区農業用廃プラスチック適正処理推進協議会(事務局:松山市農業協同組合)					

2.事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	農林水産業費	項	農業費	目	農業振興費
事業費/財源		令和5年度	令和6年度	令和7年度					
予算 (千円)	事業費計	1,227	1,181	1,412			主な経費 (千円) 【R6 決算】	協議会への補助金	1,160
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	1,227	1,181	1,412					
決算 (千円)	事業費計	1,040	1,160				主な取組 内容 【R6】	補助金の交付により、協議会運営の充実強化、廃プラスチック処理にかかる農家負担の軽減を図った。	
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	1,040	1,160						
	(執行率)	85%	98%						
人役	正規職員	0.1	0.1	0.1			特記 事項		
	その他								
	合計	0.1	0.1	0.1					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和6年度)
	目指す方向性	単位						
活動 指標	事業実施状況の確認	目標		1	1	1	1	協議会運営の充実強化、廃プラスチック処理に係る農家負担の軽減を図っていたことを、事業内容や予算執行で確認できたため。
		実績		1	1			
	現状維持	回	達成率	100%	100%			
		目標						
		実績						
		達成率						
事業 評価	評価	期待した成果をあげることができた。						
	理由	農家の負担軽減と協議会運営の充実強化、廃プラスチック処理にかかる農家負担の軽減を図ることができたため。						
課題	特になし	今後の 方向性	現行のまま継続	左記の 理由	農家の負担軽減と協議会運営の充実強化、廃プラスチック処理にかかる農家負担の軽減を図るため。			

令和7年度 松山市事務事業シート（令和6年度実績分）

部局等名	農林水産部	課等名	農林水産振興課	担当G	流通担当	連絡先	948-6565
------	-------	-----	---------	-----	------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	流通販売促進事業 (まつやま農林水産物ブランド化推進協議会補助等)		事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	5:補助金・負担金	
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	暮らしを支える地域経済を活性化する			○	○	○	○	
施策	農林水産業の活性化			○	○	○	○	
主な取組	持続可能な農林水産業の構築		根拠法令					
取組みの柱	安定生産と高品質化・高付加価値化等の推進							
目的・背景	生産者、販売者、消費者、関係団体の誰もが知る「まつやま農林水産物ブランド」を創り、ブランド製品の価値を高めることで、若い世代も参入しなくなるような「儲かる農林水産業」を確立する。							
対象・内容	まつやま農林水産ブランド化推進協議会に補助金を交付し、まつやま農林水産物ブランドの認知度や価値を向上させる取組等により、販路の拡大及び消費の拡大を図る。							

2. 事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	農林水産業費	項	農業費	目	農業振興費	
事業費/財源		令和5年度	令和6年度	令和7年度		主な経費(千円)【R6決算】	まつやま農林水産物ブランド活性化対策事業補助金		9,968	
予算(千円)	事業費計	25,964	20,653	19,387			給料			
	国費・県費	11,945								2,712
	市債									
	その他	400	400	400						
	一般財源	13,619	20,253	18,987						
決算(千円)	事業費計	23,671	16,683			主な取組内容【R6】	・トップセールスや各種イベントなど、対面でのPR活動 ・ライブコマースやウェブサイトやSNSでの情報発信など、デジタル領域でのPR活動			
	国費・県費	11,278								
	市債									
	その他	396	396							
	一般財源	11,997	16,287							
	(執行率)	91%	81%							
人役	正規職員	2.5	2.5	2.5		特記事項	令和4年度から、産地競争力強化事業を分割してできた事業。			
	その他	1.5	1.5	1.5						
	合計	4.0	4.0	4.0						

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和6年度)
	目指す方向性	単位						
活動指標	まつやま農林水産物ブランドの品目数	目標	12	13	13	13	ブランド認定の申請がなかったため、品目数が増えなかった。	
		実績	11	11				
	累計で増	品目	達成率	92%	85%			
成果指標	ブランド製品等の新規取扱い店舗数	目標	15	15	15	15	ブランド認定団体等と連携することで、多くの店舗等で取り扱ってもらうことができた。	
		実績	59	51				
	単年で増	数	達成率	393%	340%			
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。						
	理由	トップセールスをはじめとした対面でのPR活動に加え、ライブコマースやウェブサイト、SNSでの情報発信といったデジタル領域でのPR活動も実施し、まつやま農林水産物ブランドの認知度向上につなげることができた。						
課題	「まつやま農林水産物ブランド」の知名度や認知度をさらに向上させる必要がある。			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	ブランド認定団体等と連携し、引き続き、知名度等を向上させるための取組を行う。	

令和7年度 松山市事務事業シート（令和6年度実績分）

部局等名	農林水産部	課等名	農林水産振興課	担当G	農振農用地・中間管理・生産支援担当	連絡先	948-6568
------	-------	-----	---------	-----	-------------------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	未来型果樹産地強化支援事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	5:補助金・負担金	
31311							
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	暮らしを支える地域経済を活性化する						
施策	農林水産業の活性化		○	○	○	○	
主な取組	持続可能な農林水産業の構築	根拠法令	松山市未来型果樹産地強化支援事業費等補助金交付要綱、松山市未来型果樹産地強化支援事業等実施要領				
取組みの柱	安定生産と高品質化・高付加価値化等の推進						
目的・背景	<p>(背景)本市は、温暖な気候条件を生かして、特に島しょ部や中山間地域で、柑橘をはじめとした果樹農業が盛んで、農業産出額のうち5割以上を占めている。果樹品種のなかでも、「紅まどんな」「せとか」「紅プリンセス」など高収益が期待できる品種は、農業用ハウス、かん水設備などの設備投資が必要である。平成30年7月豪雨の被災から復旧した園地では、新しく植えた苗木を早期に育成し、収益につなげるため、土づくりのための堆肥の導入や生産設備の導入が必要である。</p> <p>(目的)本市の果樹農家の農業継続と所得向上につなげるため、平成30年7月豪雨での被災から復旧した園地を対象に、堆肥購入や生産設備導入を補助する。また、「紅まどんな」、「せとか」「紅プリンセス」などの高収益が期待できる品種の生産に必要な設備等の整備を補助する。</p>						
対象・内容	・市内のJAに補助金を支出し、農業者が実施する生産設備の導入等をJAを通じて支援する。						

2.事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	農林水産業費	項	農業費	目	農業振興費
事業費/財源		令和5年度	令和6年度	令和7年度					
予算 (千円)	事業費計	42,149	42,150	44,309		主な経費 (千円) 【R6 決算】	JAへの補助金		32,033
	国費・県費	28,168	28,168	28,328					
	市債								
	その他								
	一般財源	13,981	13,982	15,981					
決算 (千円)	事業費計	40,782	32,033			主な取組 内容 【R6】	・豪雨災害復興支援として生産資材に補助 ・生産基盤強化のため、ハウス、防鳥ネット 等の整備に補助		
	国費・県費	27,237	21,357						
	市債								
	その他								
	一般財源	13,545	10,676						
	(執行率)	97%	76%						
人役	正規職員	0.4	0.4	0.4		特記 事項	R3の事務事業名は産地競争力強化事業 (産地競争力強化事業から分離)		
	その他								
	合計	0.4	0.4	0.4					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和7年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和6年度)	
	目指す方向性	単位							
成果 指標	生産設備等の導入面積	目標		1500	2000	2500	2500	要望を的確に捉え、必要な支援が行えている。	
		実績		1533.1	2181.8				
	累計で増	a	達成率	102%	109%				
活動 指標	支援農家数	目標		300	400	500	500	要望に基づき必要な支援が行えている。	
		実績		301	419				
	累計で増	戸	達成率	100%	105%				
事業 評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	要望を捉えて必要な支援を行うことで、果樹農家の農業の継続と所得向上につながっていると考えるため。							
課題	特に無し			今後の 方向性	現行のまま継続	左記の 理由	期待した成果をあげることができているため。		

令和7年度 松山市事務事業シート（令和6年度実績分）

部局等名	農林水産部	課等名	農林水産振興課	担当G	農振農用地・中間管理・生産支援担当	連絡先	948-6568
------	-------	-----	---------	-----	-------------------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	産地生産基盤パワーアップ事業		事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	5:補助金・負担金	
31311								
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	暮らしを支える地域経済を活性化する							
施策	農林水産業の活性化			-	-	○	-	
主な取組	持続可能な農林水産業の構築		根拠法令	松山市産地生産基盤パワーアップ事業費補助金交付要綱				
取組みの柱	安定生産と高品質化・高付加価値化等の推進							
目的・背景	<p>(背景)愛媛県は、基盤整備事業を実施し大規模な農地の整備を実施して、農地の耕作者は、高収益が見込める品種の導入し施設整備による高品質産品の安定生産を実施する内容となっている。大規模な施設整備の初期投資に支援することで果樹産業の振興を図る。 (目的)果樹生産に要する生産設備の導入を直接的に支援し、安定経営できる状態にすることで、ブランド柑橘等の生産量を維持し、持続可能な農業につなげるとともに、本市農業の維持・発展に貢献する。</p>							
対象・内容	・愛媛県が実施する基盤整備事業により下難波地区に整備された農地で耕作する農業者に対し、生産設備の導入を支援する。							

2.事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	農林水産業費	項	農業費	目	農業振興費
事業費/財源		令和5年度	令和6年度	令和7年度					
予算 (千円)	事業費計	0	93,476	52,649		主な経費 (千円) 【R6 決算】	取組主体への補助金		61,946
	国費・県費	-	85,412	47,710					
	市債	-							
	その他	-							
	一般財源	-	8,064	4,939					
決算 (千円)	事業費計	0	61,946			主な取組内容 【R6】	・生産基盤強化のため、農業用ハウス等の整備に補助		
	国費・県費	-	55,380						
	市債	-							
	その他	-							
	一般財源	-	6,566						
	(執行率)	0%	66%						
人役	正規職員	-	0.5	0.5		特記事項			
	その他	-							
	合計	0.0	0.5	0.5					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和6年度)
	目指す方向性	単位						
成果指標	生産設備等の導入面積	目標	-	100	160	290	要望を的確に捉え、必要な支援が行えている。	
		実績	-	103				
	累計で増	a	達成率	-	103%			
活動指標	支援農家数	目標	-	6	9	14	要望に基づき必要な支援が行えている。	
		実績	-	6				
	累計で増	戸	達成率	-	100%			
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。						
	理由	要望を捉えて必要な支援を行うことで、果樹農家の農業の継続と所得向上につながっていると考えられるため。						
課題	特に無し			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	期待した成果をあげることができているため。	

令和7年度 松山市事務事業シート（令和6年度実績分）

部局等名	農林水産部	課等名	農林水産振興課	担当G	総務担当	連絡先	976-1199
------	-------	-----	---------	-----	------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	農業指導センター運営管理事業		事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	1:直営	
31311								
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	暮らしを支える地域経済を活性化させる			-	-	-	-	
施策	農林水産業の活性化							
主な取組	持続可能な農林水産業の構築		根拠法令	松山市農業指導センター条例、松山市農業指導センター事務規則、松山市市民農園貸付要綱				
取組みの柱	安定生産と高品質化・高付加価値化等の推進							
目的・背景	本市農業を持続的に発展させるために、昭和62年2月に針田町の「松山市研究指導農場(昭和31年7月設置)」を「松山市農業指導センター」として北梅本町に移転・整備し、栽培試験や新規品目の実証栽培に加え、農業者に対し生産技術の普及指導を行う「知と技術」の拠点として適切に運営管理する。							
対象・内容	市内の農業者に寄り添い生産技術の普及だけでなく、生産に関する相談に応じる拠点として施設の整備・運営を行う。併せて、市民に対して「北梅本市民農園」の管理運営を行うことで、農業への理解を深め、農業とふれあう場を提供する。							

2. 事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	農林水産業費	項	農業費	目	農業指導センター費	
事業費/財源		令和5年度	令和6年度	令和7年度		主な経費(千円)【R6決算】				
予算(千円)	事業費計	11,993	14,216	14,022			管理棟土壌検査室空調機取替工事外工事請負費			4,528
	国費・県費	0	0	0			光熱水費			3,777
	市債	500	0	0			軽貨物自動車等備品購入費			1,266
	その他	1,958	90	1,863						
	一般財源	9,535	14,126	12,159						
決算(千円)	事業費計	10,738	12,884			主な取組内容【R6】	・施設を維持管理するための業務委託 管理棟清掃業務、機械警備外 ・施設の修繕工事 管理棟土壌検査室空調機取替工事 市民農園物置取替工事 河川水貯水槽の清掃及びポンプの修繕工事外			
	国費・県費	0	0							
	市債	400	0							
	その他	1,895	28							
	一般財源	8,443	12,856							
	(執行率)	90%	91%							
人役	正規職員	2.5	2.5	2.5		特記事項	築38年が経過し、施設の突発的な修繕工事箇所が年々増えている。			
	その他	3.2	2.5	2.5						
	合計	5.7	5.0	5.0						

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和6年度)
	目指す方向性	単位						
成果指標	農業関係者の来場者数(累積)	目標	-	-	800	800	来場者の増加を目標とする施設ではないが、来場した際に農業指導や相談ができる体制を継続していく。	
		実績	741	840				
	現状維持	人	達成率	-	-			
成果指標	市民農園利用者数	目標	93	93	93	93	周知啓発や利便性の向上を図ることで、利用目的を達成することができた。	
		実績	92	93				
	現状維持	人	達成率	99%	100%			
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。						
	理由	施設の維持管理に伴う委託業務や突発的な修繕工事にも対応することで施設の長寿命化に努めるとともに、試験研究や場内での研修指導が円滑に実施できた。また、市民農園の適切な運営と農具倉庫の修繕、駐車場整備など利用者の利便性の向上に努め、利用者へ農作業を体験し楽しむ機会の提供ができた。						
課題	施設の老朽化による建屋の劣化や設備・機器の故障が増加傾向にあること。			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	本市農業の持続的発展を支援する施設として、機能が十分発揮できるように老朽化に対応し維持補修を持続的に実施する必要がある。市民農園に対する市民の要望に応え農業への理解を深めていく。	

令和7年度 松山市事務事業シート（令和6年度実績分）

部局等名	農林水産部	課等名	農林水産振興課	担当G	研究指導担当	連絡先	976-1199
------	-------	-----	---------	-----	--------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	研究指導事業		事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	1:直営	
31311								
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	暮らしを支える地域経済を活性化させる							
施策	農林水産業の活性化			-	-	-	-	
主な取組	持続可能な農林水産業の構築		根拠法令	松山市優良種苗供給事務取扱要綱				
取組みの柱	安定生産と高品質化・高付加価値化等の推進							
目的・背景	認定農業者等の生産活動の安定化と収益向上を図るために、関係機関と連携した取り組みや栽培試験、優良種苗の供給など産地の拡大や新たな産地づくりを支援する。また、消費者ニーズや生活様式の変化に対応した品目や先端技術を導入した試験栽培を行い生産現場の課題に対応する。							
対象・内容	<p>市内農業者(主に認定農業者・農業後継者)、生産組織を対象に以下の業務に取り組んでいる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アボカドの産地化支援(優良種苗の分譲、安定生産に向けた試験栽培、病害虫対策の研究) ・花木産地の拡大支援(ユーカリ等の優良種苗の分譲、新たな有望品目の栽培試験) ・果樹の省力化栽培技術の実証試験 ・環境に配慮した栽培技術の実証展示 ・土壌診断 ・現地栽培指導やSNSを活用したりリモート指導と情報発信 							

2.事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	農林水産業費	項	農業費	目	農業指導センター費
事業費/財源		令和5年度	令和6年度	令和7年度					
予算 (千円)	事業費計	3,329	7,161	7,972			主な経費 (千円) 【R6 決算】	苗木生産や試験栽培に必要な消耗品	2,495
	国費・県費	0	0	0				苗木を育てる温室に必要な燃料費	2,180
	市債	0	0	0				市場出荷時の手数料	572
	その他	2,162	7,152	7,972					
	一般財源	1,167	9	0					
決算 (千円)	事業費計	2,486	6,570				主な取組 内容 【R6】	・ユーカリやアボカドの優良種苗の分譲	
	国費・県費	0	0					・アボカドの栽培試験	
	市債	0	0					・有望花木の栽培実証試験	
	その他	2,486	6,570					・柑橘類の省力化栽培の実証試験	
	一般財源	0	0					・土壌分析に基づいた栽培指導	
	(執行率)	75%	92%					・SNSを活用した指導と情報発信	
人役	正規職員	2.3	2.5	2.5			特記 事項	R6年度からユーカリやアボカドなどの産地支援に重点を置いて取り組む。	
	その他	4.0	4.0	4.0					
	合計	6.3	6.5	6.5					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和6年度)
	目指す方向性	単位						
成果 指標	ユーカリ苗木の 分譲本数	目標	15,000	20,000	20,000	20,000	JAと連携した産地育成のため、近隣市町にも苗木を分譲し産地全体の目標を達成することができた	
		実績	21,448	20,964				
	現状維持	本	達成率	143%	105%			
成果 指標	アボカド苗木の 分譲本数	目標	1,500	1,200	1,000	800	計画的な育苗を行ったため、概ね予定通りの分譲本数となった。	
		実績	1,617	1,176				
	現状維持	本	達成率	108%	98%			
事業 評価	評価	期待した成果をあげることができた。						
	理由	ユーカリ苗木は、目標以上、アボカド苗木は、目標に近い本数の分譲を行い、産地育成に寄与した。特に、ユーカリでは、産地で問題となっている「株枯れ」について県やJAと連携して対策マニュアルを作成し普及に努めた。また、まつやま農林水産物ブランドの興居島レモンの省力栽培技術の実証試験を行い、生産者に対し説明会を開催するなど技術普及に取り組んだ。						
課題	R6年度から産地支援に重点を置き苗木分譲、試験栽培に取り組み、概ね順調であると捉えているが、依然として、鳥獣害の増加、異常気象、農家の高齢化に伴う担い手不足、農業資材の高騰等の課題がある。			今後の 方向性	現行のまま継続		左記の 理由	異常気象や物価高騰、担い手不足に対応するために、有望品目の種苗供給や省力化栽培試験等に取り組み産地の維持・拡大を目指す。

令和7年度 松山市事務事業シート（令和6年度実績分）

部局等名	農林水産部	課等名	農林水産振興課	担当G	農振農用地・中間管理・生産支援担当	連絡先	948-6568
------	-------	-----	---------	-----	-------------------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	畜産業振興事業	事業性質	1-2:自治事務(できる規定あり)		事業区分	5:補助金・負担金	
31311							
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	暮らしを支える地域経済を活性化する						
施策	農林水産業の活性化		-	-	-	-	
主な取組	持続可能な農林水産業の構築	根拠法令	家畜伝染病予防法				
取組みの柱	安定生産と高品質化・高付加価値化等の推進						
目的・背景	(背景)畜産業を取り巻く環境は、家畜伝染病の頻発、飼料や燃料費の高騰、消費者ニーズの多様化など、年々厳しさを増している。 (目的)愛媛県や各協議会等と連携して、環境整備や防疫の現地指導等を行うことで畜産農家の経営の安定化につなげる。						
対象・内容	<ul style="list-style-type: none"> 畜産関係協議会への負担金・補助金の支出 (①愛媛県飼料増産・公共牧場推進協議会 ②愛媛県畜産協会 ③愛媛県中予家畜衛生推進協議会 ④松山市養鶏振興協議会) 愛媛県職員と畜産経営体を訪問し、状況把握に努める。 鳥インフルエンザ等の防疫体制を構築し、運用する。また、防疫備品の整備を行う。 						

2.事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	農林水産業費	項	農業費	目	畜産業振興費
事業費/財源		令和5年度	令和6年度	令和7年度					
予算 (千円)	事業費計	426	414	414		主な経費 (千円) 【R6 決算】	各協議会への負担金・補助金		375
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	426	414	414					
決算 (千円)	事業費計	387	631			主な取組 内容 【R6】	各畜産関係協議会への負担金・補助金の支出 ・畜産経営体を訪問し状況把握 ・鳥インフルエンザ等の防疫体制の整備		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	387	631						
	(執行率)	91%	152%						
人役	正規職員	1.0	1.0	1.0		特記事項	県内の鳥インフルエンザの発生状況を踏まえ、予定外に防疫用資材を配布したため。		
	その他								
	合計	1.0	1.0	1.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和6年度)
	目指す方向性	単位						
活動指標	畜産経営体の巡回調査の回数	目標	1	1	1	1	予定通り巡回できているため。	
		実績	1	1				
	現状維持	回	達成率	100%	100%			
		目標						
		実績						
		達成率						
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。						
	理由	必要な負担・補助や巡回調査を予定通り行うことで、畜産農家の経営安定化につながっていると考えるため。						
課題	特に無し			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	期待した成果をあげることができているため。	

令和7年度 松山市事務事業シート（令和6年度実績分）

部局等名	農林水産部	課等名	農林水産振興課	担当G	農振農用地・中間管理・生産支援担当	連絡先	948-6568
------	-------	-----	---------	-----	-------------------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	畜産配合飼料価格高騰対策支援事業		事業性質	1-2:自治事務(できる規定あり)		事業区分	5:補助金・負担金	
31311								
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	暮らしを支える地域経済を活性化する			-	-	-	-	
施策	農林水産業の活性化							
主な取組	持続可能な農林水産業の構築		根拠法令	愛媛県畜産配合飼料価格高騰対策支援事業費補助金交付要綱、松山市畜産配合飼料価格高騰対策支援事業費補助金交付要綱				
取組みの柱	安定生産と高品質化・高付加価値化等の推進							
目的・背景	<p>(背景)畜産経営に欠かすことのできない飼料価格の高騰が長期化しており、想定を遙かに超えた厳しい経営環境に直面し、経営存続の危機に陥っている。</p> <p>(目的)配合飼料価格高騰の影響を受ける畜産農家の生産コスト低減の取組みを支援することで、配合飼料価格の高騰の影響を受けにくい経営体質への転換を促し、畜産物の安定供給体制を維持する。</p>							
対象・内容	・配合飼料価格安定制度に加入し、生産コスト低減のなど経営体質の改善を行う畜産農家に対し、補助金(取組推進費)を交付する。							

2.事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	農林水産業費	項	農業費	目	畜産業振興費	
事業費/財源		令和5年度	令和6年度	令和7年度		主な経費(千円)【R6決算】	経営改善に取り組む畜産農家への補助金		43,046	
予算(千円)	事業費計	43,635	44,014	0						
	国費・県費	43,635	44,014							
	市債									
	その他									
決算(千円)						主な取組内容【R6】	経営改善に取り組む畜産農家への補助金			
	事業費計	40,894	43,046							
	国費・県費	40,894	43,046							
	市債									
	その他									
	(執行率)	94%	98%							
人役	正規職員	1.0	1.0			特記事項				
	その他									
	合計	1.0	1.0	0.0						

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	目標の達成又は未達成要因の分析(令和6年度)
	目指す方向性	単位						
活動指標	本事業での支援件数	目標	10	10	-	-	支援対象者へ必要な支援が行えたため	
		実績	10	10				
	現状維持	回	達成率	100%	100%			
		目標						
		実績						
		達成率						
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。						
	理由	必要な支援を予定通り行うことで、畜産農家の経営安定化につながっていると考えるため。						
課題	特に無し			今後の方向性	事業終期到来	左記の理由	期待した成果をあげることができているため。	

令和7年度 松山市事務事業シート（令和6年度実績分）

部局等名	農林水産部	課等名	農林水産振興課	担当G	担い手育成・中山間・農業DX担当	連絡先	948-6566
------	-------	-----	---------	-----	------------------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	中山間地域等直接支払推進事業	事業性質	1-2:自治事務(できる規定あり)	事業区分	5:補助金・負担金	
31312						
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約
政策	暮らしを支える地域経済を活性化する		-	-	-	-
施策	農林水産業の活性化					
主な取組	持続可能な農林水産業の構築	根拠法令	食料・農業・農村基本法第47条第2項、農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する法律第3条、松山市中山間地域等直接支払交付金交付要綱			
取組みの柱	担い手の育成・確保と農地の有効活用					
目的・背景	<p>荒廃農地の増加等により農業の有する多面的機能の低下が特に懸念されている中山間地域等で、適切な農業生産活動が継続的に行われるよう農業の生産条件に関する不利を補正するための支援を行う。平成11年に「食料・農業・農村基本法」が施行され、同法第47条第2項に中山間地域の振興として「農業の生産条件に関する不利を補正するための支援を行うこと」が規定され、平成12年度から中山間地域等直接支払制度が開始された。</p>					
対象・内容	<p>山村振興法、離島振興法、特定農山村地域における農林業等の活性化のための基盤整備の促進に関する法律、過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法で特定される地域及び一定の条件を満たし、愛媛県知事が定める特認地域で、傾斜がある等の基準を満たす農用地を対象に、集落を単位とする協定を締結し、5年間農業生産活動等を継続する農業者等に交付金を交付し、協定に基づいた農道や水路の整備等の活動を支援することで、中山間地域等の農業の振興を図る。</p>					

2. 事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	農林水産業費	項	農業費	目	農業振興費
事業費/財源		令和5年度	令和6年度	令和7年度					
予算 (千円)	事業費計	101,270	102,045	116,833					
	国費・県費	74,915	75,363	81,417					
	市債								
	その他								
	一般財源	26,355	26,682	35,416					
決算 (千円)	事業費計	100,233	99,965						
	国費・県費	74,039	73,528						
	市債								
	その他	110							
	一般財源	26,084	26,437						
	(執行率)	99%	98%						
人役	正規職員	2.0	2.0	2.0					
	その他								
	合計	2.0	2.0	2.0					
						主な取組内容【R6】	・推進指導(説明会の開催、事業計画作成・変更に関する指導、交付手続、活動に関する助言・指導)他 ・実施状況の確認(書類審査、現地確認等)		
						特記事項			

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和7年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和6年度)
	目指す方向性	単位						
活動指標	交付対象集落に対する 現地確認実施率	目標	51	51	49	49	計画的に現地確認を実施することで、達成することができた。	
		実績	51	51				
	現状維持	回	達成率	100%	100%			
成果指標		目標						
		実績						
		達成率						
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。						
	理由	すべての集落の農用地を目視等により、現地確認を行い、交付対象の可否について精査ができた。						
課題	高齢化により、集落の取りまとめ役がいなくなるなどの理由で、協定に参加する集落の維持・管理が困難になりつつある。			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	集落からの手続等の相談に丁寧に対応するとともに、周囲の集落との協定統合を提案するなど維持・管理の手助けを行う。	

令和7年度 松山市事務事業シート（令和6年度実績分）

部局等名	農林水産部	課等名	農林水産振興課	担当G	農振農用地・中間管理・生産支援担当	連絡先	948-6192
------	-------	-----	---------	-----	-------------------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	農振整備計画管理事業		事業性質	1-2:自治事務(できる規定あり)		事業区分	1:直営
31312							
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約
政策	暮らしを支える地域経済を活性化させる			-	-	-	-
施策	農林水産業の活性化						
主な取組	持続可能な農林水産業の構築		根拠法令	農業振興地域の整備に関する法律 松山農業振興地域整備計画			
取組みの柱	担い手の育成・確保と農地の有効活用						
目的・背景	松山市では「農業振興地域の整備に関する法律」に基づき「松山農業振興地域整備計画」を定め、農業振興地域内での無秩序な開発行為等を抑制し、農業生産の基盤となる農用地を確保するなど、本市の農業の振興と優良農地の保全に努めている。自然的・経済的・社会的諸条件を考慮して、今後とも農業の振興を図ることが必要な地域について、その地域の整備に必要な施策を計画的かつ総合的に推進することを目的とする。						
対象・内容	農業振興地域内の農地(土地)所有者等。 松山農業振興地域整備計画に基づき、適正な土地利用を誘導することで、計画的な農地管理及び農業振興を図る。						

2. 事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	農林水産業費	項	農業費	目	農業振興費
事業費/財源		令和5年度	令和6年度	令和7年度					
予算 (千円)	事業費計	47	48	57			主な経費 (千円) 【R6 決算】	資料作成等に係る消耗品費	40
	国費・県費	0	0	0				資料送付等に係る通信運搬費	2
	市債	0	0	0				現地確認等にかかる市内旅費	1
	その他	0	0	0					
	一般財源	47	48	57					
決算 (千円)	事業費計	45	44				主な取組 内容 【R6】	土地所有者や耕作者からの申出に基づく農用地区域への編入及び農用地区域からの除外の事務処理など。	
	国費・県費	0	0						
	市債	0	0						
	その他	0	0						
	一般財源	45	44						
	(執行率)	96%	92%						
人役	正規職員	1.3	1.3	1.3			特記 事項		
	その他	0.0	0.0	0.0					
	合計	1.3	1.3	1.3					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和13年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和6年度)
	目指す方向性	単位						
成果 指標	農用地区域の指定地域	目標		5123	5124	5124	5124	農用地区域への適正な編入・除外が図られているため。
		実績		5124	5120			
	現状維持	ha	達成率	100%	100%			
		目標						
		実績						
		達成率						
事業 評価	評価	期待した成果をあげることができた。						
	理由	農用地区域の適正な編入・除外により、優良農地の確保及び農業振興が図られているため。						
課題	法律で、おおむね5年ごとに農業振興地域整備計画の基礎調査の実施(計画の見直し)が求められており、松山農業振興地域整備計画の見直しについても今後検討が必要である。			今後の 方向性	現行のまま継続	左記の 理由	農用地区域への適正な編入・除外により、優良農地の確保及び農業振興が図られているため。	

令和7年度 松山市事務事業シート（令和6年度実績分）

部局等名	農林水産部	課等名	農林水産振興課	担当G	農振農用地・中間管理・生産支援担当	連絡先	948-6192
------	-------	-----	---------	-----	-------------------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	農業型地域おこし推進事業		事業性質	1-2:自治事務(できる規定あり)		事業区分	1:直営	
31312								
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	暮らしを支える地域経済を活性化する							
施策	農林水産業の活性化			-	○	○	○	
主な取組	持続可能な農林水産業の構築		根拠法令	地域おこし協力隊推進要綱(国)、松山市地域おこし協力隊員設置要綱				
取組みの柱	担い手の育成・確保と農地の有効活用							
目的・背景	<ul style="list-style-type: none"> ・農業者の高齢化と担い手不足が進み、労働力の不足や農村地域の活力低下が生じている。 ・特に人口減少が著しい島しょ部では新たな労働力の確保が難しい。 ・農業に特化した内容で地域おこし協力隊を採用し、新たな担い手の確保による島しょ部の持続可能な農業につなげる。 							
対象・内容	本市が採用した地域おこし協力隊が行う、興居島の持続可能な農業の振興のために必要な活動支援を行う。							

2. 事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	農林水産業費	項	農業費	目	農業振興費
事業費/財源		令和5年度	令和6年度	令和7年度					
予算 (千円)	事業費計	7,186	5,662	6,877			主な経費 (千円) 【R6 決算】	農業型地域おこし協力隊職員報酬	2,469
	国費・県費							農業型地域おこし協力隊住居賃貸契約料	600
	市債							農業型地域おこし協力隊共済費	484
	その他								
	一般財源	7,186	5,662	6,877					
決算 (千円)	事業費計	4,616	5,531				主な取組内容 【R6】	任期2年目となった令和6年度は、愛媛県農業大学校での技術研修や興居島地区での農作業を行った。	
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	4,616	5,531						
	(執行率)	64%	98%						
人役	正規職員	1.2	0.2	0.2			特記事項		
	その他	1.0	1.0	1.0					
	合計	2.2	1.2	1.2					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和7年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和6年度)
	目指す方向性	単位						
活動指標	協力隊員が農家の農作業を手伝った回数	目標	52	62	72	72	協力隊員の農作業の技術が向上したことで、興居島内の農家から農作業の手伝いを求められる回数が増加した。	
		実績	71	79				
	単年で増	回	達成率	137%	127%			
成果指標	協力隊員が手伝った農家数	目標	10	12	14	14	任期2年目となり、興居島内のコネクション形成ができたことが目標達成の要因となった。	
		実績	11	13				
	単年で増	件	達成率	110%	108%			
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。						
	理由	農業技術の向上のため、愛媛県立農業大学校での技術研修や人手不足の農家の農作業を手伝ったほか、地域活動に参加するなど、自立に向けた様々な活動に取り組んだ。						
課題	特に無し			今後の方向性	見直しを検討	左記の理由	協力隊の任期であるR5年度からR7年度までの3か年事業であるため。	

令和7年度 松山市事務事業シート（令和6年度実績分）

部局等名	農林水産部	課等名	農林水産振興課	担当G	農振農用地・中間管理・生産支援担当	連絡先	948-6192
------	-------	-----	---------	-----	-------------------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	水田農業担い手支援事業(農地利用集積奨励金)	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	5:補助金・負担金	
31312						
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約
政策	暮らしを支える地域経済を活性化させる		○	-	○	○
施策	農林水産業の活性化					
主な取組	持続可能な農林水産業の構築	根拠法令	松山市水田農業担い手農地利用集積奨励金交付要綱			
取組みの柱	担い手の育成・確保と農地の有効活用					
目的・背景	農地中間管理事業を利用して新たな農地の賃借権等を設定する際、一定の要件を満たす場合に、地代負担等の軽減のために奨励金を交付することで、意欲ある農業者の経営規模の拡大を支援し、水田農業の維持発展を目指す。					
対象・内容	<p>○農地利用集積奨励金</p> <p>対象:市街化区域外の農地で農地中間管理事業を利用して水田の賃借権等の設定をした、一定の要件を満たす市内の農業者。</p> <p>事業内容:借地期間、担い手の位置づけの要件から設定された金額により、該当年度内に新規に賃借権等の設定を30a以上行い、農地(水田)を集積した場合等に奨励金を支給する。</p> <p>設立から2年以内の担い手集団が水田を借り入れる場合は、交付単価を倍額とし、新規担い手集団の育成を促進する。</p>					

2.事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	農林水産業費	項	農業費	目	農業振興費
事業費/財源		令和5年度	令和6年度	令和7年度					
予算 (千円)	事業費計	812	812	812		主な経費 (千円) 【R6 決算】	農地利用集積奨励金		588
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	812	812	812					
決算 (千円)	事業費計	491	597			主な取組 内容 【R6】	・農地利用集積奨励金の交付		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	491	597						
	(執行率)	60%	74%						
人役	正規職員	0.1	0.1	0.1		特記 事項			
	その他								
	合計	0.1	0.1	0.1					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和6年度)	
	目指す方向性	単位							
活動 指標	新規担い手集団の育成数	目標	1	1	1	1	集落内での意思統一や集団の中心となる人材の確保など集団化には一定の期間が必要であるため。		
		実績	0	0					
	単年で増	集団	達成率	0%	0%				
成果 指標	奨励金対象面積	目標	6	6	6	6	農地中間管理事業を活用して規模を拡大する予定であった農業者が、権利設定を翌年度以降に持ち越したため。		
		実績	3	3					
	現状維持	ha	達成率	50%	50%				
事業 評価	評価	一部の取組は期待した成果をあげられたが、全体としては概ね低調							
	理由	新規担い手集団の育成数は達成できなかったが、奨励金対象面積は目標の6haに対して、3haを農業者に集約することができた。奨励金の対象であった農地の一部を新規就農者が耕作することになり、対象面積は減少したが、奨励金を交付し、農業者の地代負担等の軽減を図ることで、本事業の主目的である農業者の経営規模の拡大や水田農業の維持発展につながっているため。							
課題	農地の耕作を請け負う新たな担い手集団を育成していくためには、地域内での理解と協力が必要となる。			今後の 方向性	現行のまま継続	左記の 理由	地域計画の策定等に係る協議の場を活用して、地域での将来の農地利用についての話し合いによる意向を踏まえ、検討していく。		

令和7年度 松山市事務事業シート（令和6年度実績分）

部局等名	農林水産部	課等名	農林水産振興課	担当G	担い手育成・中山間・農業DX担当	連絡先	948-6566
------	-------	-----	---------	-----	------------------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	新規就農者定着支援事業	事業性質	1-2:自治事務(できる規定あり)	事業区分	5:補助金・負担金	
31312						
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約
政策	暮らしを支える地域経済を活性化させる					
施策	農林水産業の活性化		-	-	○	-
主な取組	持続可能な農林水産業の構築	根拠法令	新規就農者育成総合対策実施要綱、松山市新規就農者育成総合対策経営開始資金交付要綱、松山市新規就農者初期投資促進事業助成金交付要綱 等			
取組みの柱	担い手の育成・確保と農地の有効活用					
目的・背景	青年の就農意欲の向上と就農定着を図るため、経営が不安定な就農初期段階の青年農業者に対して、所得確保のために資金の交付や営農に必要な機械・施設の導入を支援する。					
対象・内容	50歳未満、就農後5年以内等の諸条件を満たした認定新規就農者から申請があった場合、面接試験等を実施し、採択された申請者へ補助金を交付する。交付開始後は、定期的に就農状況報告書の提出を求めるとともに、現地確認を実施し、受給者のフォローアップに努める。また、関係機関と連携したサポートチームにより、新規就農者の諸課題に対応し、確実な定着を図る。					

2. 事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	農林水産業費	項	農業費	目	農業振興費
事業費/財源		令和5年度	令和6年度	令和7年度					
予算 (千円)	事業費計	143,934	163,953	143,454					
	国費・県費	143,073	162,578	141,494					
	市債								
	その他								
	一般財源	861	1,375	1,960					
決算 (千円)	事業費計	120,508	98,678						
	国費・県費	118,921	97,776						
	市債								
	その他	750							
	一般財源	837	902						
	(執行率)	84%	60%						
人役	正規職員	1.8	1.8	1.8					
	その他	1.0	1.0	1.0					
	合計	2.8	2.8	2.8					
				主な経費 (千円) 【R6 決算】	認定新規就農者への補助金		94,501		
				主な取組 内容 【R6】	事業実施に必要な会計年度任用職員の給料		2,426		
					・農業次世代人材投資事業及び新規就農者育成総合対策並びに新規就農者確保緊急対策の申請者の審査 ・事業採択者への資金の交付、施設導入等への補助 ・事業採択者への就農状況確認等のフォローアップ				
				特記事項	令和6年度における当初予算のうち、一部については、令和7年度に繰り越している。				

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和6年度)	
	目指す方向性	単位							
活動 指標	就農定着支援対象者数	目標	190	200	210	220	関係機関と連携しながら、多くの対象者に事業の周知を図ることができた。		
		実績	197	214					
	単年で増	人	達成率	104%	107%				
成果 指標	交付対象者の就農定着率	目標	90	90	90	90	関係機関と連携することで、新規就農者に対する十分なフォローアップができた。		
		実績	92	93					
	現状維持	%	達成率	102%	103%				
事業 評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	関係機関と緊密な連携を図り、新規就農者への適切なフォローアップに繋がったことで、目標を達成することができたため。							
課題	就農希望者の人数に見合った国の予算が確保されておらず、全ての希望者に十分な支援が行き渡らない恐れがある。			今後の 方向性	現行のまま継続	左記の 理由	目標を達成できていることから、引き続き国の事業を活用し、新規就農者の確保・育成に努めていく。		

令和7年度 松山市事務事業シート（令和6年度実績分）

部局等名	農林水産部	課等名	農林水産振興課	担当G	農振農用地・中間管理・生産支援担当	連絡先	948-6192
------	-------	-----	---------	-----	-------------------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	農地集積・集約化対策事業		事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)		事業区分	1:直営	
31312								
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	暮らしを支える地域経済を活性化させる							
施策	農林水産業の活性化			-	-	○	-	
主な取組	持続可能な農林水産業の構築		根拠法令	農地中間管理事業の推進に関する法律、農地集積・集約化対策事業実施要綱				
取組みの柱	担い手の育成・確保と農地の有効活用							
目的・背景	担い手への農地集積・集約化を推進し、耕作放棄地の発生を抑制することで、持続可能な農業構造の構築を図る。							
対象・内容	<p>農業をやめる方等の農地の「出し手」及び新たな担い手等となる農地の「受け手」が対象。 農地中間管理機構(えひめ農林漁業振興機構)が農地の出し手及び受け手を登録して農地を借り受け、そこから農地の集積・集約を推進する形で農用地利用集積等促進計画を定め、担い手へ農地を貸し付ける。 また、農地中間管理機構が借入した農地を対象に行う農地中間管理機構関連農地整備事業の農地の貸し借りの手続きを行う。 農地の出し手のうち、要件を満たした場合には、機構集積協力金を交付する。</p>							

2. 事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	農林水産業費	項	農業費	目	農業振興費
事業費/財源		令和5年度	令和6年度	令和7年度		主な経費(千円)【R6決算】	事業実施に必要な会計年度任用職員の給料		4,704
予算(千円)	事業費計	11,313	9,389	11,193			事業実施に必要な会計年度任用職員の職員手当		2,082
	国費・県費	11,313	9,389	11,193			事業実施に必要な会計年度任用職員の保険料		1,034
	市債								
	その他								
一般財源									
決算(千円)	事業費計	7,221	8,394			主な取組内容【R6】	・農地の「出し手」登録 ・農地の「受け手」登録 ・機構を通じた農地の貸借 ・農地中間管理機構関連農地整備事業に伴う事務手続き、協議		
	国費・県費	7,218	8,394						
	市債								
	その他								
	一般財源	3							
(執行率)	64%	89%							
人役	正規職員	0.9	0.9	1.5		特記事項			
	その他	2.0	2.0	3.0					
	合計	2.9	2.9	4.5					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和6年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	中間管理事業貸借設定面積	目標	10	10	10	10	事業の周知に努めたため。		
		実績	7.5	13.4					
	単年で増	ha	達成率	75%	134%				
成果指標	担い手への農地の集積率	目標	40	40	40	40	事業の周知に努めたため。		
		実績	37.8	36.8					
	現状維持	%	達成率	95%	92%				
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	活動指標及び成果指標の達成率を踏まえると、予定通りの成果をあげたと考えられるから。							
課題	令和7年度から、農地の貸借や売買の制度が変わることから、新制度を円滑に導入していく必要がある。			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	法律上、農地の貸借等に関して市の役割があるので、本事業で予算措置をして、実施する必要があるから。		

令和7年度 松山市事務事業シート（令和6年度実績分）

部局等名	農林水産部	課等名	農林水産振興課	担当G	担い手育成・中山間・農業DX担当	連絡先	948-6566
------	-------	-----	---------	-----	------------------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	農業後継者対策事業（農林漁業就業促進事業）	事業性質	1-2:自治事務(できる規定あり)		事業区分	5:補助金・負担金	
31312							
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	暮らしを支える地域経済を活性化する						
施策	農林水産業の活性化		-	-	○	○	
主な取組	持続可能な農林水産業の構築	根拠法令	愛媛県次代を担う若い農林漁業就業促進事業費補助金交付要綱、愛媛県次代を担う若い農林漁業就業促進事業実施要領、松山市農林漁業就業促進事業補助金交付要綱				
取組みの柱	担い手の育成・確保と農地の有効活用						
目的・背景	次代を担う若い人材を確保・育成するため、農業大学校等の研修を修了した新規就農者の経済的負担を軽減する。						
対象・内容	農業大学校等での研修に際し、えひめ農林漁業振興機構から就農研修資金を借り受け、研修終了後1年以内に県内で就農した認定就農者へ、資金償還に必要な金額を補助金として交付する。						

2. 事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	農林水産業費	項	農業費	目	農業振興費
事業費/財源		令和5年度	令和6年度	令和7年度		主な経費(千円)【R6決算】	就農研修資金償還への補助金		375
予算(千円)	事業費計	375	375	225			主な取組内容【R6】	助成対象者の償還助成を行う。	
	国費・県費	188	188	113					
	市債								
	その他								
一般財源	187	187	112						
決算(千円)	事業費計	375	375			特記事項	R7年度で、すべての対象者が償還金の返還を完了するため、本年度で終了となる事業である。		
	国費・県費	188	188						
	市債								
	その他								
	一般財源	187	187						
	(執行率)	100%	100%						
人役	正規職員	0.1	0.1	0.1					
	その他								
	合計	0.1	0.1	0.1					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和7年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和6年度)
	目指す方向性	単位						
成果指標	償還金返還完了人数	目標	6	7	9	9	計画どおり滞りなく償還金返還を進めることができた。	
		実績	6	7				
	累計で増	人	達成率	100%	100%			
		目標						
		実績						
		達成率						
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。						
	理由	計画どおり滞りなく償還金返還が進んでいるため。						
課題	特になし			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	引き続き計画どおりに滞りなく償還金返還を進めていく。	

令和7年度 松山市事務事業シート（令和6年度実績分）

部局等名	農林水産部	課等名	農林水産振興課	担当G	担い手育成・中山間・農業DX担当	連絡先	948-6566
------	-------	-----	---------	-----	------------------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	農業後継者対策事業(担い手総合支援事業)	事業性質	1-2:自治事務(できる規定あり)	事業区分	5:補助金・負担金	
31312						
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約
政策	暮らしを支える地域経済を活性化させる					
施策	農林水産業の活性化		-	-	○	○
主な取組	持続可能な農林水産業の構築	根拠法令	令和6年度担い手総合支援事業費補助金交付要綱、令和6年度担い手総合支援事業実施要領			
取組みの柱	担い手の育成・確保と農地の有効活用					
目的・背景	本市の農業では、従事者の高齢化と減少が急速に進んでおり、農業生産の確保と集落における農地の維持が困難になりつつある。このため、多様な担い手の確保及び育成を目的とし、JAが実施する就農候補者の育成研修や、就農者の経営定着及び発展のための地域交流活動、認定新規就農者の経営安定及び認定農業者の経営改善に必要な機械・施設の導入について、県の「担い手総合支援事業」を活用して支援を行い、意欲ある担い手の確保を目指す。					
対象・内容	JAが実施する以下の活動について支援する。 (1)就農候補者への育成研修、(2)就農者の経営発展等を目的とした地域交流活動、(3)新規就農者へリースする農業機械・施設の整備 また、認定農業者が農地を集積し経営改善に必要な農業機械・施設の整備について支援する。					

2.事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	農林水産業費	項	農業費	目	農業振興費
事業費/財源		令和5年度	令和6年度	令和7年度					
予算 (千円)	事業費計	24,438	25,764	0		主な経費 (千円) 【R6 決算】	JA及び認定農業者への補助金		17,702
	国費・県費	16,292	17,176	0					
	市債								
	その他								
	一般財源	8,146	8,588	0					
決算 (千円)	事業費計	20,321	17,702			主な取組 内容 【R6】	・就農候補者研修支援事業 ・地域交流活動等支援事業 ・認定農業者機械施設整備 ・新規農業者機械施設整備		
	国費・県費	13,547	11,801						
	市債								
	その他								
	一般財源	6,774	5,901						
	(執行率)	83%	69%						
人役	正規職員	1.5	1.0	1.0		特記事項	令和7年度は9月補正予算で計上予定(金額未定)		
	その他								
	合計	1.5	1.0	1.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和6年度)
	目指す方向性	単位						
成果 指標	事業利用人数	目標	50	50	50	50	事業対象者全員へ要望調査を実施したことで、申請漏れを防ぐことができた。	
		実績	62	57				
	現状維持	人	達成率	124%	114%			
		目標						
		実績						
		達成率						
事業 評価	評価	期待した成果をあげることができた。						
	理由	事業対象者全員へ要望調査を実施することで、申請漏れを防ぐことができ、結果として目標とする事業利用人数を上回る成果をあげることができたため。						
課題	県の財源に限りがあるため、要望者全員が採択されるとは限らない。			今後の 方向性	現行のまま継続	左記の 理由	引き続き、本事業の活用を希望する方に、必要な支援を提供できるよう努めていく。	

令和7年度 松山市事務事業シート（令和6年度実績分）

部局等名	農林水産部	課等名	農林水産振興課	担当G	担い手育成・中山間・農業DX担当	連絡先	948-6566
------	-------	-----	---------	-----	------------------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	農業後継者対策事業(農業後継者育成対策事業)	事業性質	2:その他		事業区分	5:補助金・負担金	
31312							
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	暮らしを支える地域経済を活性化する						
施策	農林水産業の活性化		-	-	○	○	
主な取組	持続可能な農林水産業の構築	根拠法令	松山市補助金等交付規則				
取組みの柱	担い手の育成・確保と農地の有効活用						
目的・背景	松山市青年農業者連絡協議会では、消費者との交流に積極的に取り組み、農作物の魅力を多くの人に普及するとともに、青年農業者相互の活発な意見交換により、知識や技術を共有し、個々の成長だけでなく、組織の連携と団結強化を図る活動を行う。また、先進地視察や研修を受講し、積極的に先進技術を学ぶことで、農業経営の発展や所得の向上につなげ、地域の担い手を育成する。						
対象・内容	松山市青年農業者連絡協議会(40歳未満の農業者で組織する協議会)へ補助金を交付する。						

2. 事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	農林水産業費	項	農業費	目	農業振興費
事業費/財源		令和5年度	令和6年度	令和7年度		主な経費(千円)【R6決算】	協議会への補助金		585
予算(千円)	事業費計	640	640	640			複合機消耗品代		10
	国費・県費						普通旅費		36
	市債								
	その他								
	一般財源	640	640	640					
決算(千円)	事業費計	427	631			主な取組内容【R6】	・総会及び理事会の開催 ・立木見回りの開催 ・まつやま農林水産まつりへの出展		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	427	631						
	(執行率)	67%	99%						
人役	正規職員	0.2	0.2	0.2		特記事項			
	その他								
	合計	0.2	0.2	0.2					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和6年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	連携団体数		目標	6	6	6	6	関係機関との連携を図ることにより、より包括的な取り組みを実施することができた。	
	現状維持	団体数	実績	8	8				
			達成率	133%	133%				
成果指標	会員の認定農業者・認定新規就農者率		目標	40	40	40	40	協議会を通じて習得した技術や知識を活かし、認定農業者や認定新規就農者となってもらうことで、地域の中心的な担い手を確保することができた。	
	現状維持	%	実績	79	82				
			達成率	198%	205%				
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	コロナウイルス感染症のため活動を縮小していたが、先進地視察研修を数年ぶりに実施することが出来た。また、例年実施している立木見回りの開催やまつやま農林水産まつりへの出展など、その他の活動でも協議会としての目的を達成することが出来たため。							
課題	特になし			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	引き続き、協議会を通じて技術や知識の習得に取り組み、青年農業者の確保・育成に努めていく。		

令和7年度 松山市事務事業シート（令和6年度実績分）

部局等名	農林水産部	課等名	農林水産振興課	担当G	担い手育成・中山間・農業DX担当	連絡先	948-6566
------	-------	-----	---------	-----	------------------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	担い手等経営発展支援事業 (認定農業者活動補助金)		事業 性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業 区分	5:補助金・負担金	
31312								
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】		各種 計画 該当	総合計画 (実施計画)	総合計画 (笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	暮らしを支える地域経済を活性化する							
施策	農林水産業の活性化			-	-	○	○	
主な取組	持続可能な農林水産業の構築		根拠 法令	松山市補助金等交付規則				
取組みの柱	担い手の育成・確保と農地の有効活用							
目的・背景	当該協議会の活動費の一部を支援することで、本市農業の中核的担い手である認定農業者の経営能力向上を図り、本市農業の持続的な発展につなげる。							
対象・内容	市が協議会に補助金を支出し、当該協議会が松山市内の会員である認定農業者を対象に、地域ブロック会及び研究部会による研修会、視察研修や他の生産者団体等事業への参加、まつやま農林水産まつりへの出展などを実施する。							

2. 事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	農林水産業費	項	農業費	目	農業振興費
事業費/財源		令和5年度	令和6年度	令和7年度					
予算 (千円)	事業費計	1,200	1,200	1,200		主な 経費 (千円) 【R6 決算】	認定農業者協議会		1,200
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	1,200	1,200	1,200					
決算 (千円)	事業費計	722	1,200			主な 取組 内容 【R6】	・総会、理事会等の開催 ・地域ブロック会、研究部会事業の実施 ・他の生産者団体等事業への参加 ・まつやま農林水産まつりへの出展		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	722	1,200						
	(執行率)	60%	100%						
人役	正規職員	0.5	0.5	0.5		特記 事項			
	その他	1.5	1.5	1.5					
	合計	2.0	2.0	2.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和6年度)	
	目指す方向性	単位							
活動 指標	農業経営改善計画認定数	目標	180	190	200	200	前年度同様、今年度も高齢等の理由で再認定を希望しなかった人数が増加した。		
		実績	161	140					
	現状維持	件	達成率	89%	74%				
成果 指標	認定農業者数	目標	970	980	990	990	高齢等により、認定農業者の更新を希望しなかった人が増加した。		
		実績	960	946					
	現状維持	人	達成率	99%	96%				
事業 評価	評価	一部の取組は期待した成果をあげられなかったが、全体としては概ね順調							
	理由	高齢等を理由に、認定農業者の再認定を希望しなかった人が増加するなど、認定農業者数は減少する結果となったが、コロナウイルス感染症の位置づけが5類に移行したことにより、現地視察研修等、協議会としての活動を実施することができたため。							
課題	会員の高齢化等により、今後は協議会の会員数が減少していくことが懸念される。			今後の 方向性	見直しを検討	左記の 理由	地域ブロック会や研究部会のニーズに応じた研修や先進地視察を企画するなど、新たな会員獲得の手法について検討していく。		

令和7年度 松山市事務事業シート（令和6年度実績分）

部局等名	農林水産部	課等名	農林水産振興課	担当G	農振農用地・中間管理・生産支援担当	連絡先	948-6192
------	-------	-----	---------	-----	-------------------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	担い手等経営発展支援事業 (地域計画策定)		事業 性質	1-4:自治事務(義務規定あり)		事業 区分	1:直営	
31312								
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】		各種 計画 該当	総合計画 (実施計画)	総合計画 (笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	暮らしを支える地域経済を活性化させる							
施策	農林水産業の活性化			-	-	○	○	
主な取組	持続可能な農林水産業の構築		根拠 法令	農業経営基盤強化促進法				
取組みの柱	担い手の育成・確保と農地の有効活用							
目的・背景	<p>農業者の高齢化や後継者不足により、地域の農地を維持することが難しくなっている。将来にわたって地域の農業と農地を残していくために、誰が耕作を担うのか、経営しやすい環境をどう整えるのかなどを、地域が一体となり考える地域計画の策定が、農業経営基盤強化促進法の改正により定められた。(人・農地プランの法定化)</p>							
対象・内容	<p>地域計画の策定に関する工程は、①地域の話し合いの場として「地域の場」を実施、結果の公表、②協議の結果を踏まえた地域計画面案(目標地図を含む)の作成、③関係者の意見聴取、④案の公告、⑤地域計画の策定・公告となっており、地域の農家、農業委員会や農協等と連携し取り組む。 ※目標地図とは、10年後の耕作者を地図に示したものの。素案は農業委員会が作成し、市に提出する。</p>							

2. 事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	農林水産業費	項	農業費	目	農業振興費
事業費/財源		令和5年度	令和6年度	令和7年度					
予算 (千円)	事業費計	4,406	2,525	1,063		主な 経費 (千円) 【R6 決算】	資料送付等に係る通信運搬費		330
	国費・県費	0	0	0			資料作成等に係る消耗品費		300
	市債	0	0	0			説明会開催等に係る市内旅費		137
	その他	32	0	0					
	一般財源	4,374	2,525	1,063					
決算 (千円)	事業費計	209	917			主な 取組 内容 【R6】	各地区で説明会を開催し、地域計画の策定を行った。		
	国費・県費	170	797						
	市債	0	0						
	その他	0	0						
	一般財源	39	120						
	(執行率)	5%	36%						
人役	正規職員	1.6	3.0	2.0		特記 事項	説明会等を効率的に開催することで、説明会開催に伴う市内旅費や、資料送付に係る通信運搬費などの費用を抑えることができた。		
	その他								
	合計	1.6	3.0	2.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和6年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和6年度)
	目指す方向性	単位						
活動 指標	地域、関係機関との協議等の実施回数(協議の場を含む)	目標	52	52	52	52	法律により、令和5・6年度の2年間で策定するものとされており、順次説明会を開催することができたため。	
		実績	6	42				
	累計で増	回	達成率	12%	81%			
成果 指標	地域計画の策定地区数	目標	52	52	52	52	法律により、令和6年度未までに策定することとされており、計画通り実施することができたため。	
		実績	0	42				
	累計で増	地区	達成率	0%	81%			
事業 評価	評価	一部の取組は期待した成果をあげられなかったが、全体としては概ね順調						
	理由	策定地区数は目標には届かなかったものの、令和6年度未までに、これまで人・農地プランを定めていたすべての地域で地域計画を策定することができたため。						
課題	地域計画と国の制度・事業との関連付けが増加しており、そうした国の制度・事業の利用機会を適切に確保することが課題。そのため、関係機関と連携しながら、未策定地区での新規立ち上げや、策定済み地区の地域計画を管理する必要がある。			今後の 方向性	現行のまま継続	左記の 理由	引き続き、未策定地区での新規立ち上げや策定済み地区の地域計画の適正な管理を実施する。	

令和7年度 松山市事務事業シート（令和6年度実績分）

部局等名	農林水産部	課等名	農林水産振興課	担当G	担い手育成・中山間・農業DX担当	連絡先	948-6566
------	-------	-----	---------	-----	------------------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	担い手等経営発展支援事業 (農業経営対策推進事業)		事業 性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業 区分	1:直営	
31312								
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】		各種 計画 該当	総合計画 (実施計画)	総合計画 (笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	暮らしを支える地域経済を活性化させる							
施策	農林水産業の活性化			-	-	○	○	
主な取組	持続可能な農林水産業の構築		根拠 法令	農業経営基盤強化促進法				
取組みの柱	担い手の育成・確保と農地の有効活用							
目的・背景	本市の農業を支える認定農業者等の経営を発展させるため、専門職員による技術指導や認定支援等を行う。							
対象・内容	認定農業者を対象に、就農相談、農業に関する高度な知識と技能を有する専任マネージャーによる技術指導とフォローアップや認定候補者の掘り起こし、生産者組織による視察研修、講演会の開催等を行う。							

2. 事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	農林水産業費	項	農業費	目	農業振興費
事業費/財源		令和5年度	令和6年度	令和7年度					
予算 (千円)	事業費計	361	364	297		主な 経費 (千円) 【R6 決算】	各種案内等に係る 通信運搬費		135
	国費・県費						事務局運営に係る 市内旅費		50
	市債								
	その他								
	一般財源	361	364	297					
決算 (千円)	事業費計	200	335			主な 取組 内容 【R6】	・専任マネージャーによる就農相談や技術 指導、フォローアップ ・農業経営基盤強化促進法に基づく 認定農業者・認定新規就農者の認定と 認定候補者の掘り起こし ・生産者組織による視察研修の実施、 研修会の開催など		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	200	335						
	(執行率)	55%	92%						
人役	正規職員	0.5	0.5	0.5		特記 事項			
	その他	1.5	1.5	1.5					
	合計	2.0	2.0	2.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和6年度)	
	目指す方向性	単位							
活動 指標	農業経営改善計画認定数	目標	180	190	200	200	前年度同様、今年度も高齢等の理由で 再認定を希望しなかった人数が増加した。		
		実績	161	140					
	現状維持	件	達成率	89%	74%				
成果 指標	認定農業者数	目標	970	980	990	990	高齢等により、認定農業者の更新を希望 しなかった人が増加した。		
		実績	960	946					
	現状維持	人	達成率	99%	96%				
事業 評価	評価	一部の取組は期待した成果をあげられなかったが、全体としては概ね順調							
	理由	高齢等を理由に、認定農業者の再認定を希望しなかった人が増加するなど、指標の数値が減少する要因が重なったため。							
課題	農業者の高齢化や後継者不足等の要因により、今後は認定農業者の 人数が減少していくことが懸念される。			今後の 方向性	見直しを検討	左記の 理由	地域の中心的な担い手となる認定農業者 を確保していくための手法について、 改めて検討していく。		

令和7年度 松山市事務事業シート（令和6年度実績分）

部局等名	農林水産部	課等名	農林水産振興課	担当G	担い手育成・中山間・農業DX担当	連絡先	948-6492
------	-------	-----	---------	-----	------------------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	担い手等経営発展支援事業 (農業関係資金利子補給事業)		事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	1:直営
31312							
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約
政策	暮らしを支える地域経済を活性化させる						
施策	農林水産業の活性化			-	-	○	○
主な取組	持続可能な農林水産業の構築		根拠法令	松山市農業近代化資金利子補給規則、 松山市農業経営基盤強化資金利子補給金交付要綱			
取組みの柱	担い手の育成・確保と農地の有効活用						
目的・背景	【農業近代化資金利子補給事業】 松山市内の農業者およびその組織する団体に対し、低利資金の融通を円滑にする措置を行い、農業経営の近代化と合理化を図ることで、農業振興に貢献する。 【農業経営基盤強化資金利子補給】 経営感覚に優れた効率的かつ安定的な農業経営を育成し、足腰の強い農業構造を確立する。						
対象・内容	【農業近代化資金利子補給事業】 農業近代化資金融通法第2条第3項に規定する農業近代化資金を貸し付ける同条第2項各号に掲げる融資機関に対し、予算の範囲内において、当該農業近代化資金に伴う利子補給金を交付する。 【農業経営基盤強化資金利子補給】 農業経営基盤強化資金を借り受けた認定農業者の金利負担を軽減する。						

2. 事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	農林水産業費	項	農業費	目	農業振興費
事業費/財源		令和5年度	令和6年度	令和7年度					
予算 (千円)	事業費計	338	331	252		主な経費 (千円) 【R6 決算】	農業関係資金利子補給		128
	国費・県費	17	15	12					
	市債								
	その他								
	一般財源	321	316	240					
決算 (千円)	事業費計	128	128			主な取組 内容 【R6】	・農業近代化資金、農業経営基盤強化資金 の融資機関に対し、利子補給金を交付		
	国費・県費	18	15						
	市債								
	その他								
	一般財源	110							
	(執行率)	38%	39%						
人役	正規職員	0.1	0.1	0.1		特記 事項	農業制度資金の新規借入れの減少や 完済により、利子補給額が減少したため		
	その他								
	合計	0.1	0.1	0.1					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和6年度)
	目指す方向性	単位						
活動 指標	利子補給件数	目標		32	20	20	20	農業制度資金の新規借入れの減少や 償還完了により、利子補給件数が 減少したため。
		実績		20	17			
	現状維持	件	達成率	63%	85%			
		目標						
		実績						
		達成率						
事業 評価	評価	一部の取組は期待した成果をあげられなかったが、全体としては概ね順調						
	理由	農業経営に必要な農業制度資金の新規借入れの減少や償還完了により、利子補給件数は減少傾向にあるが、農業者が借り入れる資金の利子を補給することで、農業者の負担軽減と農業経営の安定化につながったため。						
課題	特になし			今後の 方向性	現行のまま継続		左記の 理由	農業経営を行う中で農業機械等の導入に 必要な資金を借り入れた際の利子の一部 を助成することで農業者の負担軽減と 経営の安定化を図る。

令和7年度 松山市事務事業シート（令和6年度実績分）

部局等名	農林水産部	課等名	農林水産振興課	担当G	担い手育成・中山間・農業DX担当	連絡先	948-6566
------	-------	-----	---------	-----	------------------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	担い手等経営発展支援事業 (経営継承・発展等支援事業)		事業 性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業 区分	5:補助金・負担金	
31312								
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】		各種 計画 該当	総合計画 (実施計画)	総合計画 (笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	暮らしを支える地域経済を活性化する							
施策	農林水産業の活性化			-	-	○	○	
主な取組	持続可能な農林水産業の構築		根拠 法令	経営継承・発展等支援事業実施要綱、 担い手育成・確保等対策事業費補助金等交付要綱、 松山市経営継承・発展支援事業補助金交付要綱				
取組みの柱	担い手の育成・確保と農地の有効活用							
目的・背景	農家の高齢化が進む中、農業の継続と発展、優良農地の利用促進には、農地等の経営資源を次世代へ継承することが急がれる。そこで、国の「経営継承・発展等支援事業」を活用し、先代の認定農業者から継承した後継者の経営を発展させる取組を支援する。							
対象・内容	先代の認定農業者から経営を継承した後継者に、継承後の経営発展のための計画を策定してもらい、取組に必要な経費を補助する。補助上限額1,000千円で、国と市が2分の1ずつ負担する。							

2. 事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	農林水産業費	項	農業費	目	農業振興費
事業費/財源		令和5年度	令和6年度	令和7年度		主な 経費 (千円) 【R6 決算】	通信運搬費		1
予算 (千円)	事業費計	1,135	1,134	0					
	国費・県費								
	市債								
	その他	500	500						
	一般財源	635	634						
決算 (千円)	事業費計	1,094	1			主な 取組 内容 【R6】	・対象者である認定農業者に対し、要望調査を実施した。 ・作業効率化のため、農業用モノレールの導入について申請した。		
	国費・県費								
	市債								
	その他	500							
	一般財源	594	1						
	(執行率)	96%	0%						
人役	正規職員	0.2	0.2	0.2		特記 事項	令和6年度は1件申請するも不採択。 令和7年度は要望がなく、実施しない見込み		
	その他								
	合計	0.2	0.2	0.2					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和6年度)	
	目指す方向性	単位							
活動 指標	受益農家数	目標	2	1	1	1	事業対象者全員へ要望調査を実施した結果、1件の申請があったが、不採択となったため。		
		実績	1	0					
	現状維持	戸	達成率	50%	0%				
		目標							
		実績							
			達成率						
事業 評価	評価	その他							
	理由	補助金事務局の審査により、不採択となったため。							
課題	特に無し			今後の 方向性	現行のまま継続	左記の 理由	引き続き、本事業の活用を希望する農業後継者に、必要な支援を提供できるよう努めていく。		

令和7年度 松山市事務事業シート（令和6年度実績分）

部局等名	農林水産部	課等名	農林水産振興課	担当G	農振農用地・中間管理・生産支援担当	連絡先	948-6192
------	-------	-----	---------	-----	-------------------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	31312 荒廃農地再生利用事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	5:補助金・負担金	
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	暮らしを支える地域経済を活性化する		-	-	-	○	
施策	農林水産業の活性化						
主な取組	持続可能な農林水産業の構築	根拠法令	松山市荒廃農地再生利用事業補助金交付要綱				
取組みの柱	担い手の育成・確保と農地の有効活用						
目的・背景	荒廃している農地を再生し、利用するために必要な経費の一部を補助することにより、優良農地の確保及び有効活用を図る。						
対象・内容	市内に住所を有し、かつ、本市の区域内において農業を営む個人又は団体で、納期限が到来した市税を完納しているもののうち、「認定農業者」、「認定新規就農者」、「集落営農組織」又は「人・農地プランの中心経営体として位置づけられた農業者」が対象。除草剤や草刈り機資材などの消耗品費、堆肥購入費などの原材料費、障害物除去などに必要な重機のレンタル費用、整地作業などに係る役務費や人件費など、荒廃している農地の再生作業に必要な経費の1/3以内の額を補助する。						

2. 事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	農林水産業費	項	農業費	目	農業振興費
事業費/財源		令和5年度	令和6年度	令和7年度		主な経費(千円)【R6決算】	荒廃農地再生利用事業補助金		95
予算(千円)	事業費計	619	639	639			市内旅費		4
	国費・県費						公用車航送料		4
	市債								
	その他								
	一般財源	619	639	639					
決算(千円)	事業費計	382	102			主な取組内容【R6】	荒廃している農地を再生し、利用するために必要な経費の一部を補助した。		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	382	102						
	(執行率)	62%	16%						
人役	正規職員	0.2	0.2	0.2		特記事項	見込んでいたより申請者が少なかったため		
	その他								
	合計	0.2	0.2	0.2					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和6年度)
	目指す方向性	単位						
成果指標	再生した農地面積の増加	目標	78	128	178	228	事業を利用した農業者1人当たりの再生した農地面積が大きかったため	
		実績	83	192				
	累計で増	a	達成率	106%	150%			
		目標						
		実績						
		達成率						
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。						
	理由	着実に優良農地の確保及び有効活用が図られているため						
課題	特になし			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	本事業により、優良農地の確保及び有効活用が図られているため	

令和7年度 松山市事務事業シート（令和6年度実績分）

部局等名	農林水産部	課等名	農林水産振興課	担当G	担い手育成・中山間・農業DX担当	連絡先	948-6192
------	-------	-----	---------	-----	------------------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	スマート農機等導入推進事業		事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	1:直営	
31312								
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	暮らしを支える地域経済を活性化する							
施策	農林水産業の活性化			-	○	○	○	
主な取組	持続可能な農林水産業の構築		根拠法令	農業DX構想(国)、松山市農業DX推進骨子				
取組みの柱	担い手の育成・確保と農地の有効活用							
目的・背景	・農業者の高齢化や担い手不足による労働力不足が進む中、農作業の負担軽減と効率化を目的として、デジタル技術を活用した「農業DX」の推進に取り組む。							
対象・内容	・農業用ため池などで遠隔操作が可能な草刈機の体験会や、傾斜地のかんきつ園地でのドローンによる薬剤散布の実証実験を、市内15カ所で実施し、228名の農業者が参加した。 ・農業アルバイトのマッチングアプリを活用した人手確保を支援し、興居島で53件のマッチングが成立した。また、その取組を認定農業者の会などで紹介し、事例を共有した。							

2. 事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	農林水産業費	項	農業費	目	農業振興費	
事業費/財源		令和5年度	令和6年度	令和7年度		主な経費(千円)【R6決算】	遠隔操作草刈機のレンタル料		936	
予算(千円)	事業費計	0	1,735	0				現地調査用ドローン購入		99
	国費・県費								DX先進視察	
	市債									
	その他									
	一般財源		1,735							
決算(千円)	事業費計	0	1,216			主な取組内容【R6】	・スマート農機の体験会・実証実験を実施した。 ・農業アルバイトのマッチングアプリの活用を農業者団体の会議等で紹介した。			
	国費・県費									
	市債									
	その他									
	一般財源		1,216							
	(執行率)	0%	70%							
人役	正規職員		0.5			特記事項	R7年度から「農業DX推進事業」で実施			
	その他									
	合計	0.0	0.5	0.0						

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和一年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和6年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	遠隔操作草刈機の体験会の実施	目標		—	5	—	—	体験会を市内の5地区で実施する予定であったが、事前の希望調査の結果、スマート農機に関心を持つ農業者団体が多かった。	
		実績		—	12				
	単年で増	回	達成率		—	137%			
成果指標	地域で活用できると思う農業者の割合	目標		—	50	—	—	農業者にスマート農機に触れてもらい、その性能や効果を体感してもらった。	
		実績		—	83				
	単年で増	%	達成率		—	166%			
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	農業者が実際にスマート農機を導入するきっかけとなっている。							
課題	スマート農機の普及はまだ十分とは言えず、農業DXを進めながら機運の醸成が重要である。			今後の方向性	事業終期到来	左記の理由	R7年度から「農豪DX推進事業」を実施し、引き続き、スマート農機等の導入推進に取り組んでいく。		

令和7年度 松山市事務事業シート（令和6年度実績分）

部局等名	農林水産部	課等名	農林水産振興課	担当G	研究指導担当	連絡先	976-1199
------	-------	-----	---------	-----	--------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	まつやま農業未来人材投資事業		事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	1:直営	
31312								
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	暮らしを支える地域経済を活性化させる			○	○	○	○	
施策	農林水産業の活性化							
主な取組	持続可能な農林水産業の構築		根拠法令					
取組みの柱	担い手の育成・確保と農地の有効活用							
目的・背景	農業者の高齢化や労働力不足が続く中、デジタル技術を活用した農業DXを推進し、作業の負担軽減や生産性の向上に繋がるとともに、就農希望者や新規就農者に対し就農に必要な技術習得を促し、安定した農業経営の継続を目指すなど、農業の担い手となる人材の育成・確保を目指す。							
対象・内容	1. 農業DX研修 市内農業者に対し、農業DX機器の説明会や営農指導を通して使用体験の機会を提供し、機器導入を後押しする。 2. アボカドに関する愛媛大学との共同研究 アボカド生産者が目指す安定生産に繋がる基礎研究を愛媛大学農学部と共同で実施する。収量増につながる授粉を助ける昆虫や果実を加害する昆虫の動態調査により収量・品質の安定に繋げる。 3. 松山市独自の指導で新規就農者を確保・育成 新規就農者の園地で、職員が栽培管理作業の手本を見せながら丁寧に指導する「踏み込んだ指導」を実施し、営農の継続を図る。また、就農希望者には、担い手農家育成研修として、環境に配慮した栽培や農業DX機器を使った栽培実習等を実施する。							

2. 事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	農林水産業費	項	農業費	目	農業指導センター費
事業費/財源		令和5年度	令和6年度	令和7年度		主な経費(千円)【R6決算】	農業DX研修や共同研究に必要な備品購入費		2,315
予算(千円)	事業費計	0	7,724	4,639					
	国費・県費			652					
	市債								
	その他								
一般財源		7,724	3,987						
決算(千円)	事業費計	0	6,250			主な取組内容【R6】	・農業用ドローンやバッテリー駆動型農業機材の体験研修会に実施 ・新規就農者に対する「踏み込んだ指導」の実施 ・就農希望者向け農業研修の実施 ・農業や化学肥料の減少に繋げる実践的な研修の実施		
	国費・県費		1,838						
	市債								
	その他								
	一般財源		4,412						
(執行率)	0%	81%							
人役	正規職員		4.0	4.0		特記事項	令和6年度から新規就農者育成と農業DXの推進に焦点を当てて取り組む。		
	その他		6.0	6.0					
	合計	0.0	10.0	10.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和6年度)
	目指す方向性	単位						
活動指標	スマート農機研修の開催回数	目標	—	2	2	2	本市が設置する公民連携窓口の活用や生産者からの要望により研修回数が目標以上となった。	
		実績	—	4				
現状維持	回	達成率	—	200%				
成果指標	スマート農業に取り組んだ新規就農者の割合	目標	—	10	15	25		他事業との連携もあり、農業アプリやバッテリー駆動型農業機材等の農業DXの導入が若手農業者の間で進んでいる。
		実績	—	29				
	累計で増	%	達成率	—	290%			
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。						
	理由	新規就農者など若手農業者が、作業の負担軽減のためにデジタル技術を活用した農業DXを活用することに関心が高く、本事業で実施した研修や他事業との連携により、手軽に導入できる農業アプリなどの安価なツールの導入が進んでいる。						
課題	R6年度は、活動指標、成果指標とも目標をクリアし、概ね順調であると捉えているが、R7年度以降は、物価高騰の影響で、農業DX機器の導入が進まない可能性がある。			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	農業者の高齢化や労働力不足が続いており、新規就農者など担い手の育成・確保は、本市農業を維持するために急務と捉えている。	

令和7年度 松山市事務事業シート（令和6年度実績分）

部局等名	農林水産部	課等名	農林水産振興課	担当G	流通担当	連絡先	948-6565
------	-------	-----	---------	-----	------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	流通販売促進事業 (まつやま農林水産まつり実行委員会補助)		事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	5:補助金・負担金	
31314								
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	暮らしを支える地域経済を活性化させる			○	○	○	○	
施策	農林水産業の活性化							
主な取組	持続可能な農林水産業の構築		根拠法令					
取組みの柱	生産者と消費者の相互理解による地産地消の推進							
目的・背景	第2期松山市地産地消促進計画に基づき、消費者と生産者が直接ふれあい、生産者の農産物に対する想いや消費者のニーズなどを意見交換することができる農林水産まつりを実施し、地産地消の推進と農林水産業の発展を図る。							
対象・内容	まつやま農林水産まつり実行委員会に補助金を交付し、まつやま農林水産まつりを実施し、地産地消の促進や農林水産業の発展を図る。							

2. 事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	農林水産業費	項	農業費	目	農業振興費
事業費/財源		令和5年度	令和6年度	令和7年度		主な経費 (千円) 【R6 決算】	まつやま農林水産まつり 実行委員会補助金		3,401
予算 (千円)	事業費計	3,500	3,500	3,700					
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	3,500	3,500	3,700					
決算 (千円)	事業費計	3,500	3,401			主な取組 内容 【R6】	まつやま農林水産まつりの開催		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	3,500	3,401						
	(執行率)	100%	97%						
人役	正規職員	0.5	0.5	0.5		特記 事項	令和4年度から、産地競争力強化事業を 分割してできた事業。		
	その他	0.5	0.5	0.5					
	合計	1.0	1.0	1.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和6年度)	
	目指す方向性	単位							
活動 指標	まつりの出店数		目標	30	30	30	30	これまでの出展者に希望調査を行い、目標 の出店数を確保できた。	
	現状維持	数	実績	27	31				
成果 指標	「来年度も来場する」と 答えた人の割合		目標	80	80	80	80	来場者イベントの実施等により、また行き たいと思えるまつりにすることができた。	
			実績	79	86				
	現状維持	%	達成率	99%	108%				
事業 評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	目標来場者数12,000人を大幅に上回る16,000人の来場があり、地産地消の促進や本市の農林水産業の発展に繋がった。また、 大街道商店街で実施したことにより、中心市街地の賑わいづくりにも貢献できた。							
課題	特になし。			今後の 方向性	現行のまま継続	左記の 理由	引き続き、農林水産まつりの実施を通し て、地産地消の推進と農林水産業の発展を 図る。		

令和7年度 松山市事務事業シート（令和6年度実績分）

部局等名	農林水産部	課等名	農林水産振興課	担当G	総務・水産担当	連絡先	948-6564
------	-------	-----	---------	-----	---------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	漁場整備事業(タコ産卵増殖)	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	1:直営	
31315						
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約
政策	暮らしを支える地域経済を活性化する					
施策	農林水産業の活性化		-	-	-	-
主な取組	持続可能な農林水産業の構築	根拠法令				
取組みの柱	漁場の再生と資源管理					
目的・背景	本市漁業は、周辺水域の水産資源の減少、担い手不足、高齢化の進行、漁業地域の活力の低下等、厳しい状況に直面している。こうした状況の中、水産業の持続的な発展を確保するため、資源拡大に向けた積極的な取組が必要となっている。					
対象・内容	市内漁業者のために、タコ産卵礁を市内沿岸海域に沈設する。					

2. 事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	農林水産業費	項	水産業費	目	水産業振興費	
事業費/財源		令和5年度	令和6年度	令和7年度		主な経費 (千円) 【R6 決算】	タコ産卵礁購入費		856	
予算 (千円)	事業費計	836	836	840						
	国費・県費									
	市債									
	その他									
	一般財源	836	836	840						
決算 (千円)	事業費計	836	856			主な取組 内容 【R6】	タコ産卵礁を市内沿岸海域に沈設。			
	国費・県費									
	市債									
	その他									
	一般財源	836	856							
	(執行率)	100%	102%							
人役	正規職員	0.2	0.2	0.2		特記 事項	輸送価格高騰のため、決算額が予算額を上回った。			
	その他									
	合計	0.2	0.2	0.2						

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和6年度)
	目指す方向性	単位						
活動 指標	産卵礁の沈設	目標	18	18	18	18	漁協と連携して最適な場所に、産卵礁を沈設できたため。	
		実績	18	18				
	現状維持	基	達成率	100%	100%			
		目標						
		実績						
		達成率						
事業 評価	評価	期待した成果をあげることができた。						
	理由	漁協と連携して最適な場所に、産卵礁を沈設できたため。						
課題	特になし			今後の 方向性	現行のまま継続	左記の 理由	水産資源拡大に向けた取組が必要であるため。	

令和7年度 松山市事務事業シート（令和6年度実績分）

部局等名	農林水産部	課等名	農林水産振興課	担当G	総務・水産担当	連絡先	948-6564
------	-------	-----	---------	-----	---------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	漁場整備事業(栽培漁業推進)	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	1:直営	
31315							
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	暮らしを支える地域経済を活性化する						
施策	農林水産業の活性化		-	-	-	-	
主な取組	持続可能な農林水産業の構築	根拠法令					
取組みの柱	漁場の再生と資源管理						
目的・背景	市内沿岸海域に魚類の種苗を放流し、沿岸漁業資源の増大と栽培漁業の推進を図るとともに、河川にも種苗を放流し、内水面漁業の振興を図る。 本市漁業は、周辺水域の水産資源の減少、担い手不足、高齢化の進行、漁業地域の活力の低下等、厳しい状況に直面している。 こうした状況の中、水産業の持続的な発展を確保するため、資源拡大に向けた積極的な取組が必要となっている。						
対象・内容	魚種選定を行い、市内沿岸海域及び河川に種苗を放流する。						

2. 事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	農林水産業費	項	水産業費	目	水産業振興費
事業費/財源		令和5年度	令和6年度	令和7年度		主な経費(千円)【R6決算】	種苗購入費		7,057
予算(千円)	事業費計	7,604	7,147	7,158			船舶借上料		90
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	7,604	7,147	7,158					
決算(千円)	事業費計	7,595	7,147			主な取組内容【R6】	市内沿岸海域及び河川にキジハタやカサゴ、アユなどの種苗を放流。		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	7,595	7,147						
	(執行率)	100%	100%						
人役	正規職員	0.2	0.2	0.2		特記事項			
	その他								
	合計	0.2	0.2	0.2					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和6年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	放流量(キジハタ・カサゴ・メバル)	目標	44,300	42,400	42,400	42,400	漁協と連携して、沿岸海域に種苗を放流できたため。		
		実績	44,300	42,400					
	現状維持	尾	達成率	100%	100%				
		目標							
		実績							
		達成率							
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	漁協と連携して、沿岸海域に種苗を放流できたため。							
課題	特になし			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	水産資源拡大に向けた取組が必要であるため。		

令和7年度 松山市事務事業シート（令和6年度実績分）

部局等名	農林水産部	課等名	農林水産振興課	担当G	総務・水産担当	連絡先	948-6564
------	-------	-----	---------	-----	---------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	漁場整備事業(市単独漁場造成)	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)	
31315						
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約
政策	暮らしを支える地域経済を活性化する		-	-	-	-
施策	農林水産業の活性化					
主な取組	持続可能な農林水産業の構築	根拠法令				
取組みの柱	漁場の再生と資源管理					
目的・背景	漁場を近隣に造成することで、漁労時間の短縮、燃料費等の経費の削減を図る。 本市漁業は、漁獲量の減少、担い手不足、高齢化の進行、漁業地域の活力の低下等厳しい状況に直面している。 こうした状況の中、水産業の持続的な発展を確保するため、近隣漁場の形成や漁場面積の拡大等、積極的な取組が必要となっている。					
対象・内容	松山市管内の海域に自然石を投入し漁場を造成する。					

2. 事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	農林水産業費	項	水産業費	目	水産業振興費
事業費/財源		令和5年度	令和6年度	令和7年度		主な経費(千円)【R6決算】	漁場造成工事請負費(現年分)		3,606
予算(千円)	事業費計	4,482	7,452	4,320			漁場造成工事請負費(繰越分)		2,098
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	4,482	7,452	4,320					
決算(千円)	事業費計	1,350	5,704			主な取組内容【R6】	和気地先に自然石を投入した。		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	1,350	5,704						
	(執行率)	30%	77%						
人役	正規職員	0.2	0.2	0.2		特記事項			
	その他								
	合計	0.2	0.2	0.2					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和6年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	漁場を造成	目標	1	2	1	1	漁協と連携して、松山市管内の海域に自然石を投入し漁場を造成することができたため。		
		実績	0	2					
	現状維持	箇所	達成率	0%	100%				
		目標							
		実績							
		達成率							
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	漁協と連携して、松山市管内の海域に自然石を投入し漁場を造成することができたため。							
課題	特になし			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	漁場を近隣に造成し、漁労時間の短縮、燃料費等の経費の削減を図るため。		

令和7年度 松山市事務事業シート（令和6年度実績分）

部局等名	農林水産部	課等名	農林水産振興課	担当G	総務・水産担当	連絡先	948-6564
------	-------	-----	---------	-----	---------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	漁場整備事業(水産資源保護育成事業補助金)	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	5:補助金・負担金	
31315							
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	暮らしを支える地域経済を活性化する						
施策	農林水産業の活性化		-	-	-	-	
主な取組	持続可能な農林水産業の構築	根拠法令	松山市農林水産業補助金交付要綱、松山市補助金等交付規則				
取組みの柱	漁場の再生と資源管理						
目的・背景	貝類やウニ等の水産動植物の漁獲量増大を図るため、漁業協同組合が実施する種苗放流事業の一部を助成し、漁業資源の増大と栽培漁業の推進を図る。 海水温の上昇など環境の変化による漁獲量の減少に伴い、漁業経営も以前より困難になっている。 そのため、漁協が実施する種苗放流事業の一部を助成することで栽培漁業を推進し、資源の増大を図る必要がある。						
対象・内容	事業を実施する漁協へ補助金を支出する。(水産物生産関連事業の45%を補助)						

2. 事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	農林水産業費	項	水産業費	目	水産業振興費
事業費/財源		令和5年度	令和6年度	令和7年度		主な経費(千円)【R6決算】	種苗を購入した漁協への補助金		669
予算(千円)	事業費計	702	708	726					
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	702	708	726					
決算(千円)	事業費計	671	669			主な取組内容【R6】	漁協が実施するアカウニ・サザエの種苗放流事業の一部を助成した。		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	671	669						
	(執行率)	96%	94%						
人役	正規職員	0.2	0.2	0.2		特記事項			
	その他								
	合計	0.2	0.2	0.2					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和6年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	種苗の放流	目標		4	4	4	4	漁協と連携して、種苗放流を実施できたため。	
		実績		4	4				
	単年で増	回	達成率	100%	100%				
		目標							
		実績							
		達成率							
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	漁協と連携して、種苗放流を実施できたため。							
課題	特になし			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	沿岸漁業資源の増大と栽培漁業の推進を図るため。		

令和7年度 松山市事務事業シート（令和6年度実績分）

部局等名	農林水産部	課等名	農林水産振興課	担当G	総務・水産担当	連絡先	948-6564
------	-------	-----	---------	-----	---------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	漁場整備事業(水産多面的機能発揮対策事業費補助金)		事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	5:補助金・負担金	
31315								
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	暮らしを支える地域経済を活性化する							
施策	農林水産業の活性化			-	-	-	-	
主な取組	持続可能な農林水産業の構築		根拠法令	水産多面的機能発揮対策交付金交付等要綱 愛媛県豊かな里海づくり活動支援事業費補助金交付要綱 松山市水産多面的機能発揮対策事業費補助金交付要綱				
取組みの柱	漁場の再生と資源管理							
目的・背景	水産業・漁村は、水産物を供給する役割以外に、生態系の保全や交流の場の形成など多面的な機能を提供する役割を担ってきた。近年、漁業就業者の減少や高齢化の進行などによりこれらの多面的機能の発揮に支障が生じているため、多面的機能の発揮に資する活動を推進していく必要がある。							
対象・内容	多面的機能の発揮に資する活動を行う、漁業者が中心となって構成する活動組織へ、愛媛県豊かな里海づくり活動地域協議会を通じて補助金を交付する。(事業の30%を補助)							

2. 事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	農林水産業費	項	水産業費	目	水産業振興費
事業費/財源		令和5年度	令和6年度	令和7年度					
予算 (千円)	事業費計	0	258	258		主な経費 (千円) 【R6 決算】	協議会への補助金		228
	国費・県費		129	129					
	市債								
	その他								
	一般財源		129	129					
決算 (千円)	事業費計	0	228			主な取組 内容 【R6】	活動組織が実施する活動の一部を助成した。		
	国費・県費		114						
	市債								
	その他								
	一般財源		114						
	(執行率)	0%	88%						
人役	正規職員	0.2	0.2	0.2		特記 事項			
	その他								
	合計	0.2	0.2	0.2					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和6年度)
	目指す方向性	単位						
活動 指標	活動組織との協定	目標	—	1	1	1	水産多面的機能の発揮に資する活動組織との協定を締結することができたため。	
		実績	—	1				
	現状維持	件	達成率	—	100%			
		目標						
		実績						
		達成率						
事業 評価	評価	期待した成果をあげることができた。						
	理由	協定を締結した活動組織の水産多面的機能の発揮に資する活動に対し、指導・補助ができたため。						
課題	特になし			今後の 方向性	現行のまま継続	左記の 理由	水産業・漁村の活性化を図るため。	

令和7年度 松山市事務事業シート（令和6年度実績分）

部局等名	農林水産部	課等名	農林水産振興課	担当G	総務・水産担当	連絡先	948-6564
------	-------	-----	---------	-----	---------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	水産団体等支援事業(漁船船主責任保険利用推進事業補助金)		事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	5:補助金・負担金	
31315								
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	暮らしを支える地域経済を活性化する			-	-	-	-	
施策	農林水産業の活性化			-	-	-	-	
主な取組	持続可能な農林水産業の構築		根拠法令	松山市漁船船主責任保険補助金交付要綱				
取組みの柱	漁場の再生と資源管理							
目的・背景	漁船保険の加入を推進し、事故等によって操業等が困難になることを防止し、漁家経営の安定を図る。海洋性レクリエーションの拡大によりプレジャーボート等の航行が増加する中、ルールを無視した航行や操業マナーの違反等により、様々なトラブルが想定される。また、漁船による不慮の事故が発生していることから、損害の復旧を容易にするとともに事故費用の負担や責任の発生により漁業経営が困難になることを防止する必要がある。							
対象・内容	漁業協同組合が漁船船主責任保険に要する経費(保険料)の30%以内に対し松山市が補助する。(ただし、組合員1人あたり1隻のみの補助)							

2. 事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	農林水産業費	項	水産業費	目	水産業振興費
事業費/財源		令和5年度	令和6年度	令和7年度		主な経費(千円)【R6決算】	各漁協への補助金		1,978
予算(千円)	事業費計	2,200	2,180	2,118					
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	2,200	2,180	2,118					
決算(千円)	事業費計	2,006	1,978			主な取組内容【R6】	漁業協同組合が漁船船主責任保険に要する経費を補助した。		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	2,006	1,978						
	(執行率)	91%	91%						
人役	正規職員	0.2	0.2	0.2		特記事項			
	その他								
	合計	0.2	0.2	0.2					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和6年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	漁協への補助	目標	8	8	8	8	各漁協へ事業周知を丁寧にしたことで、全漁協に補助できたため。		
		実績	8	8					
	現状維持	件	達成率	100%	100%				
		目標							
		実績							
		達成率							
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	各漁協へ事業周知を丁寧にしたことで、全漁協に補助できたため。							
課題	特になし			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	事故等によって操業等が困難になることを防止し、漁家経営の安定を図るため。		

令和7年度 松山市事務事業シート（令和6年度実績分）

部局等名	農林水産部	課等名	農林水産振興課	担当G	総務・水産担当	連絡先	948-6564
------	-------	-----	---------	-----	---------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	水産団体等支援事業（漁業振興団体負担金）		事業性質	1-1:自治事務（実施規定なし）		事業区分	5:補助金・負担金	
31315								
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】		各種計画該当	総合計画（実施計画）	総合計画（笑顔プログラム）	総合戦略	市長公約	
政策	暮らしを支える地域経済を活性化する							
施策	農林水産業の活性化			-	-	-	-	
主な取組	持続可能な農林水産業の構築		根拠法令					
取組みの柱	漁場の再生と資源管理							
目的・背景	地元漁業者の法令遵守意識の高揚のほか、関係機関と連携して、漁業違反や漁業紛争防止など伊予灘海域での漁業秩序の確立を図る。昭和38年度に伊予灘での漁業秩序の確立を図るために、関係団体や関係市町で構成した伊予灘海域漁業秩序確立対策協議会を設立した。							
対象・内容	伊予灘海域漁業秩序確立対策協議会に負担金を交付する。							

2. 事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	農林水産業費	項	水産業費	目	水産業振興費
事業費/財源		令和5年度	令和6年度	令和7年度		主な経費 (千円) 【R6 決算】	協議会への負担金		370
予算 (千円)	事業費計	394	394	370					
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	394	394	370					
決算 (千円)	事業費計	394	370			主な取組 内容 【R6】	関係機関と連携して、漁業違反や漁業紛争防止など伊予灘海域での漁業秩序の確立を図った。		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	394	370						
	(執行率)	100%	94%						
人役	正規職員	0.2	0.2	0.2		特記 事項			
	その他								
	合計	0.2	0.2	0.2					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和6年度)	
	目指す方向性	単位							
活動 指標	事業実施状況の確認		目標	1	1	1	1	漁業違反や漁業紛争防止など伊予灘海域での漁業秩序の確立が図られたことを事業内容や予算執行で確認できたため。	
			実績	1	1				
	現状維持	回	達成率	100%	100%				
			目標						
			実績						
			達成率						
事業 評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	関係機関と連携して、漁業違反や漁業紛争防止など伊予灘海域での漁業秩序の確立を図られたため。							
課題	特になし			今後の 方向性	現行のまま継続	左記の 理由	伊予灘海域での漁業秩序の確立を図るため。		

令和7年度 松山市事務事業シート（令和6年度実績分）

部局等名	農林水産部	課等名	農林水産振興課	担当G	総務・水産担当	連絡先	948-6564
------	-------	-----	---------	-----	---------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	水産団体等支援事業(松山市漁業連合協議会補助金)		事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	5:補助金・負担金	
31315								
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	暮らしを支える地域経済を活性化する							
施策	農林水産業の活性化			-	-	-	-	
主な取組	持続可能な農林水産業の構築		根拠法令	松山市農林水産業補助金交付要綱				
取組みの柱	漁場の再生と資源管理							
目的・背景	松山市管内の漁業協同組合相互の協調連絡を図り、漁業者の福利増進及び水産業の振興を積極的に推進する。漁業を取り巻く厳しい社会経済情勢の中で、組織の体質強化や産業として自立し得る漁業の確立を図る必要があるため。							
対象・内容	松山市漁業連合協議会へ補助金を支出する。 (協議会での事業) ・魚礁や増殖礁、築いその効果調査の実施等							

2. 事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	農林水産業費	項	水産業費	目	水産業振興費
事業費/財源		令和5年度	令和6年度	令和7年度		主な経費 (千円) 【R6 決算】	協議会への補助金		700
予算 (千円)	事業費計	756	750	800					
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	756	750	800					
決算 (千円)	事業費計	765	700			主な取組 内容 【R6】	会議を開催し、松山市管内の漁業協同組合相互の協調連絡を図った。魚礁等設置予定箇所の深淺測量や既設魚礁等の効果調査を実施した。		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	765	700						
	(執行率)	101%	93%						
人役	正規職員	0.2	0.2	0.2		特記 事項			
	その他								
	合計	0.2	0.2	0.2					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和6年度)	
	目指す方向性	単位							
活動 指標	会議開催	目標		2	2	2	2	会議を開催したことにより、松山市管内の漁業協同組合相互の協調連絡を図れたため。	
		実績		2	2				
	現状維持	回	達成率	100%	100%				
		目標							
		実績							
		達成率							
事業 評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	会議を開催したことにより、松山市管内の漁業協同組合相互の協調連絡を図れたため。							
課題	特になし			今後の 方向性	現行のまま継続	左記の 理由	松山市管内の漁業協同組合相互の協調連絡を図るため。		

令和7年度 松山市事務事業シート（令和6年度実績分）

部局等名	農林水産部	課等名	農林水産振興課	担当G	総務・水産担当	連絡先	948-6564
------	-------	-----	---------	-----	---------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	水産団体等支援事業(漁業近代化資金等利子補給金)		事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	5:補助金・負担金	
31315								
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	暮らしを支える地域経済を活性化する							
施策	農林水産業の活性化			-	-	-	-	
主な取組	持続可能な農林水産業の構築		根拠法令	松山市漁業近代化利子補給金規則 松山市農林漁業共同化資金利子補給金交付要綱				
取組みの柱	漁場の再生と資源管理							
目的・背景	漁船の建造や改造等の漁業者の資本整備の高度化及び経営の近代化を図る。 漁業近代化資金融通法に基づき、漁業者等の資本整備の高度化を図り、その経営の近代化を推進するため、漁協系統金融機関の資金を活用して、漁業者等に対し、長期かつ低利の設備資金等の融通の円滑化を図る。							
対象・内容	市内漁業者及び漁業者で構成している団体が、漁業近代化資金融通法に基づき、漁船の建造や改造等の漁業者の資本整備の高度化及び経営の近代化を推進するため、漁業協同組合や信用漁業協同組合連合会等の融資機関による長期・低利の設備資金の融資を受けたものに対し、利子補給を行う。							

2. 事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	農林水産業費	項	水産業費	目	水産業振興費
事業費/財源		令和5年度	令和6年度	令和7年度		主な経費 (千円) 【R6 決算】	愛媛県漁業信用協同組合連合会への補助金		1,178
予算 (千円)	事業費計	140	1,674	1,608					
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	140	1,674	1,608					
決算 (千円)	事業費計	869	1,178			主な取組 内容 【R6】	漁業協同組合等の融資機関による長期・低利の設備資金の融資を受けたものに対し、愛媛県漁業信用協同組合連合会を通じて利子補給を行った。		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	869	1,178						
	(執行率)	621%	70%						
人役	正規職員	0.2	0.2	0.2		特記 事項			
	その他								
	合計	0.2	0.2	0.2					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和6年度)
	目指す方向性	単位						
活動 指標	事業の周知		目標	1	1	1	1	各漁協へ事業の周知を行ったため。
			実績	1	1			
	現状維持	回	達成率	100%	100%			
			目標					
			実績					
			達成率					
事業 評価	評価	期待した成果をあげることができた。						
	理由	漁業者を支援したことで、漁船の建造や改造等の漁業者の資本整備の高度化及び経営の近代化を図られたため。						
課題	特になし			今後の 方向性	現行のまま継続	左記の 理由	漁業者等の資本整備の高度化を図り、その経営の近代化を推進するため。	

令和7年度 松山市事務事業シート（令和6年度実績分）

部局等名	農林水産部	課等名	農林水産振興課	担当G	総務・水産担当	連絡先	948-6564
------	-------	-----	---------	-----	---------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	水産基盤整備事業(魚礁施設)		事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)	
31315								
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	暮らしを支える地域経済を活性化する			-	-	-	-	
施策	農林水産業の活性化							
主な取組	持続可能な農林水産業の構築		根拠法令	愛媛県漁港漁場関係事業費補助金交付要綱、水産基盤整備事業補助金交付要綱、水産物供給基盤整備事業等実施要領				
取組みの柱	漁場の再生と資源管理							
目的・背景	水産資源の生産力向上と豊かな生態系の維持・回復を図るために漁場の施設を整備し漁家経営の安定及び漁家所得の向上を図る。本市漁業は、周辺水域での水産資源の減少、担い手不足、高齢化の進行、漁業地域の活力の低下等厳しい状況に直面している。こうした状況の中、魚礁施設や増殖施設を設置することで、水産業の持続的な発展を確保し、水産物の安定供給に向けた積極的な取組が必要となっている。							
対象・内容	松山市管内の海域に魚礁施設や増殖施設を設置する。							

2. 事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	農林水産業費	項	水産業費	目	水産業振興費
事業費/財源		令和5年度	令和6年度	令和7年度		主な経費(千円)【R6決算】	魚礁等整備による工事請負費(現年分)		43,647
予算(千円)	事業費計	66,500	93,565	94,453					
	国費・県費	47,000	66,914	69,863					
	市債	16,000	22,600	20,400					
	その他								
	一般財源	3,500	4,051	4,190					
決算(千円)	事業費計	38,950	69,711			主な取組内容【R6】	中島漁場(元怒和)に魚礁を、松山漁場(和気)に増殖礁を設置する工事の発注をした。また、松山漁場(安居島)に魚礁を、中島漁場(二神)に増殖礁を設置した。		
	国費・県費	28,281	48,512						
	市債	9,600	18,900						
	その他								
	一般財源	1,069	2,299						
	(執行率)	59%	75%						
人役	正規職員	0.2	0.2	0.2		特記事項	23,853千円を繰越		
	その他								
	合計	0.2	0.2	0.2					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和6年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	魚礁・増殖礁の整備	目標	2	4	3	2	測量結果を基に魚礁の機種変更をしたことにより、魚礁製作に時間を要するようになったため、年度内に完成しなかった。		
		実績	0	3					
	現状維持	箇所	達成率	0%	75%				
		目標							
		実績							
		達成率							
事業評価	評価	一部の取組は期待した成果をあげられなかったが、全体としては概ね順調							
	理由	現年分の増殖礁設置は年度内に完成しなかったが、漁協と連携して松山市管内の海域への投入準備ができた。また、それ以外の魚礁及び増殖礁は、漁協と連携して松山市管内の海域に投入できたため。							
課題	特になし			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	水産資源の生産力の向上と豊かな生態系の維持・回復を図るため		

令和7年度 松山市事務事業シート（令和6年度実績分）

部局等名	農林水産部	課等名	農林水産振興課	担当G	総務・水産担当	連絡先	948-6564
------	-------	-----	---------	-----	---------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	離島漁業再生支援交付金事業		事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	5:補助金・負担金	
31315								
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	暮らしを支える地域経済を活性化させる			-	-	-	-	
施策	農林水産業の活性化			-	-	-	-	
主な取組	持続可能な農林水産業の構築		根拠法令	松山市離島漁業再生支援交付金事業交付要綱・愛媛県離島漁業再生支援交付金事業交付要綱、水産関係地方公共団体交付金等交付要綱				
取組みの柱	漁場の再生と資源管理							
目的・背景	離島漁業再生支援交付金により、離島地域の漁業集落が漁場の生産力向上及び再生に向けて実践的な取組を行い、所得の向上等を図る。離島は、輸送や資材の取得等、不利な条件にあり、漁業就業者の減少や、高齢化の進行などにより集落の活力が低下する懸念がある。こうした離島漁業の再生を図るため、各島の特色を活かした新たな取組を促進し、離島漁業集落を活性化させる必要がある。							
対象・内容	集落協定を締結した漁業集落の漁場の生産力向上及び再生に向けて行う実践的な活動に対して補助金を支出する。							

2. 事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	農林水産業費	項	水産業費	目	水産業振興費
事業費/財源		令和5年度	令和6年度	令和7年度			主な経費(千円)【R6決算】	漁業集落の活動への補助金	20,258
予算(千円)	事業費計	22,525	22,525	22,525				事務用品等の購入費用	292
	国費・県費	16,705	16,705	16,705				漁業集落への市内旅費	49
	市債								
	その他								
	一般財源	5,820	5,820	5,820					
決算(千円)	事業費計	22,525	20,638				主な取組内容【R6】	集落協定を締結した漁業集落の漁場の生産力向上及び再生に向けて行う実践的な活動に対して補助金を支出した。	
	国費・県費	16,705	15,285						
	市債								
	その他								
	一般財源	5,820	5,353						
	(執行率)	100%	92%						
人役	正規職員	0.2	0.2	0.2			特記事項		
	その他								
	合計	0.2	0.2	0.2					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和6年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	漁業集落との協定	目標	5	5	5	5	情報共有・情報交換を密にすることで、漁業集落との協定を継続できたため。		
		実績	5	5					
	現状維持	集落	達成率	100%	100%				
		目標							
		実績							
		達成率							
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	集落協定を締結した漁業集落の漁場の生産力向上及び再生に向けて行う実践的な活動に補助できたため。							
課題	特になし			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	離島地域の漁業集落が漁場の生産力向上及び再生が必要であるため。		

令和7年度 松山市事務事業シート（令和6年度実績分）

部局等名	農林水産部	課等名	農林水産振興課	担当G	総務・水産担当	連絡先	948-6564
------	-------	-----	---------	-----	---------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	新規漁業就業者育成強化事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	5:補助金・負担金	
31315						
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約
政策	暮らしを支える地域経済を活性化する		○	○	○	-
施策	農林水産業の活性化					
主な取組	持続可能な農林水産業の構築	根拠法令	愛媛県新規漁業就業者育成強化事業費補助金交付要綱 松山市新規漁業就業者育成強化事業補助金交付要綱			
取組みの柱	漁場の再生と資源管理					
目的・背景	漁業協同組合(支所)が実施する、新規漁業就業者を支援する取組に対して補助し、新規漁業就業者の確保・育成を図る。本市の漁業就業者は高齢化が進んでいるため、新規漁業就業者を確保する必要がある。					
対象・内容	独立して3年以内の概ね45歳未満の漁業者で、国が実施する研修等を修了した新規漁業就業者に、漁協が実施する漁業経費を支援する取組に補助する。					

2.事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	農林水産業費	項	水産業費	目	水産業振興費
事業費/財源		令和5年度	令和6年度	令和7年度		主な経費(千円)【R6決算】	漁協への補助金		1,388
予算(千円)	事業費計	5,600	5,600	2,800					
	国費・県費	2,800	2,800	1,400					
	市債								
	その他								
	一般財源	2,800	2,800	1,400					
決算(千円)	事業費計	2,266	1,388			主な取組内容【R6】	新規漁業就業者に、漁協が実施する漁業経費を支援する取組に補助した。		
	国費・県費	1,132	693						
	市債								
	その他								
	一般財源	1,134	695						
	(執行率)	40%	25%						
人役	正規職員	0.2	0.2	0.2		特記事項	想定よりも申請額が少なかったため。		
	その他								
	合計	0.2	0.2	0.2					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和7年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和6年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	新規漁業就業者への支援	目標		4	4	2	2	漁協を通じて、新規漁業就業者が必要とする漁業経費への補助ができたため。	
		実績		4	4				
	現状維持	人	達成率	100%	100%				
		目標							
		実績							
		達成率							
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	漁協を通じて、新規漁業就業者が必要とする漁業経費への補助ができたため。							
課題	特になし			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	漁業就業者の高齢化が進んでおり、新規漁業就業者を確保する必要があるため。		

令和7年度 松山市事務事業シート（令和6年度実績分）

部局等名	農林水産部	課等名	農林水産振興課	担当G	林業担当	連絡先	948-6576
------	-------	-----	---------	-----	------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	新たな水源かん養林事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	2:委託	
31316							
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	暮らしを支える地域経済を活性化する		○	-	-	-	
施策	農林水産業の活性化						
主な取組	持続可能な農林水産業の構築	根拠法令					
取組みの柱	森林の整備と保全及び森林経営の確立						
目的・背景	竹林は繁殖力が強く、放置すると隣接する人工林に侵入し、樹木の生育を阻害するほか、土壌が持つ保水力を低下させるため森林の水源かん養など公益機能が奪われる。石手川ダム集水域の水源かん養機能を向上させるため、区域内の放置竹林を伐採し、その跡地に広葉樹等を植栽し、樹種転換を図る。						
対象・内容	石手川ダム集水域内の放置竹林を伐採し、クヌギなどの広葉樹を植栽する。放置竹林の所有者から8年間借上げ、定期的の下刈りを行う。近年、獣害被害等で生育しなかった場所へ補植を行い、ツリーシェルターを設置する。						

2. 事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	総務費	項	総務管理費	目	節水型都市づくり推進費
事業費/財源		令和5年度	令和6年度	令和7年度		主な経費(千円)【R6決算】	竹林伐採や植栽等への委託料		43,254
予算(千円)	事業費計	53,417	61,017	62,780					
	国費・県費								
	市債								
	その他	53,417	61,017	62,780					
一般財源									
決算(千円)	事業費計	43,908	44,384			主な取組内容【R6】	・放置竹林の伐採 ・伐採後、クヌギなどの広葉樹を植栽 ・植栽地の除草 ・育成しなかった植栽地への補植及びツリーシェルターの設置		
	国費・県費								
	市債								
	その他	43,908	44,384						
	一般財源								
(執行率)	82%	73%							
人役	正規職員	1.0	1.0	1.0		特記事項			
	その他	0.6	0.6	0.6					
	合計	1.6	1.6	1.6					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和6年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	放置竹林伐採面積	目標	220	221	223	228	所有者が分かる放置森林が減少してきたため。		
		実績	216	218					
	累計で増	ha	達成率	98%	99%				
		目標							
		実績							
		達成率							
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	放置竹林を伐採し、広葉樹を植栽することによって、森林の公益機能の増進が図られた。							
課題	放置竹林の所有者が不明などの理由で、実施する場所が限られていた。			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	今後も放置竹林を広葉樹へ樹種転換していくとともに、生育していない場所への補植を継続し、水源かん養林機能の増進を図る。		

令和7年度 松山市事務事業シート（令和6年度実績分）

部局等名	農林水産部	課等名	農林水産振興課	担当G	林業担当	連絡先	948-6567
------	-------	-----	---------	-----	------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	林業振興団体負担金事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	5:補助金・負担金	
31316						
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約
政策	暮らしを支える地域経済を活性化させる					
施策	農林水産業の活性化		-	-	-	-
主な取組	持続可能な農林水産業の構築	根拠法令	・今治・松山流域森林林業活性化センター規約 ・松山地区林材業振興会議会則 ・愛媛県公有林野対策協議会会則			
取組みの柱	森林の整備と保全及び森林経営の確立					
目的・背景	関係機関相互の連絡調整、木材利用促進等を図るため当事業を開始した。					
対象・内容	今治・松山流域森林・林業活性化センター、松山地区林材業振興会議、愛媛県公有林野対策協議会、愛媛県林業労働力確保支援センターの4団体の総会(事業計画・収支予算)に出席し承認後、負担金を支出する。					

2.事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	農林水産業費	項	林業費	目	林業振興費
事業費/財源		令和5年度	令和6年度	令和7年度					
予算 (千円)	事業費計	1,104	1,104	1,104			主な経費 (千円) 【R6 決算】	森林組合等関係機関への負担金	1,104
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	1,104	1,104	1,104					
決算 (千円)	事業費計	1,104	1,104				主な取組 内容 【R6】	森林組合等関係機関への負担金	
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	1,104	1,104						
(執行率)	100%	100%							
人役	正規職員	-	-	-			特記 事項		
	その他	-	-	-					
	合計	0.0	0.0	0.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和6年度)	
	目指す方向性	単位							
活動 指標	負担金の支払い	目標	1	1	1	1	林業振興のため負担金を支出したことで森林の集約化など林業生産活動等の活性化が図られた。		
		実績	1	1					
	現状維持	回	達成率	100%	100%				
		目標							
		実績							
		達成率							
事業 評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	各種協議会等の特色を活かし、市民の森林・林業に対する意識の高揚や木材の利活用の促進を図ることができたため。							
課題	特になし。			今後の 方向性	現行のまま継続	左記の 理由	今後も松山地区の市町及び森林組合等関係機関が連携し、林業施策を推進していく。		

令和7年度 松山市事務事業シート（令和6年度実績分）

部局等名	農林水産部	課等名	農林水産振興課	担当G	林業担当	連絡先	948-6567
------	-------	-----	---------	-----	------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	林業経営体指導事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	5:補助金・負担金	
31316							
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	暮らしを支える地域経済を活性化する						
施策	農林水産業の活性化		-	-	-	-	
主な取組	持続可能な農林水産業の構築	根拠法令	松山市補助金交付規則				
取組みの柱	森林の整備と保全及び森林経営の確立						
目的・背景	林業従事者の高齢化や木材価格の低迷等、長期化する森林・林業の危機的な状況下で、経営が厳しい状態にあるため、林業従事者の大部分が組合員となっている松山流域森林組合が実施する各種資格取得講習会等を支援することで、林業の活性化を図る。						
対象・内容	松山流域森林組合の一般事業の内、指導事業に対し補助する。						

2. 事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	農林水産業費	項	林業費	目	林業振興費	
事業費/財源		令和5年度	令和6年度	令和7年度		主な経費 (千円) 【R6 決算】	指導団体への補助金		470	
予算 (千円)	事業費計	470	470	0						
	国費・県費									
	市債									
	その他									
	一般財源	470	470	0						
決算 (千円)	事業費計	470	470			主な取組 内容 【R6】	指導団体(森林組合)への補助金交付			
	国費・県費									
	市債									
	その他									
	一般財源	470	470							
	(執行率)	100%	100%							
人役	正規職員	-	-	-		特記 事項	R6年度で廃止			
	その他	-	-	-						
	合計	0.0	0.0	0.0						

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和6年度)	
	目指す方向性	単位							
活動 指標	補助金の交付	目標	1	1	0	0	利益の上がらない指導事業に対し補助することで、各種資格指導講習会に参加し組合員の資質の向上を図ることができた。		
		実績	1	1					
	現状維持	回	達成率	100%	100%				
		目標							
		実績							
		達成率							
事業 評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	本事業の実施により、林業従事者の施業の改善等を図ることができた。							
課題	特になし。			今後の 方向性	事業終期到来	左記の 理由	R6年度で廃止したため		

令和7年度 松山市事務事業シート（令和6年度実績分）

部局等名	農林水産部	課等名	農林水産振興課	担当G	林業担当	連絡先	948-6567
------	-------	-----	---------	-----	------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	流域森林総合整備事業		事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	5:補助金・負担金	
31316								
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	暮らしを支える地域経済を活性化させる			-	-	-	-	
施策	農林水産業の活性化							
主な取組	持続可能な農林水産業の構築		根拠法令					
取組みの柱	森林の整備と保全及び森林経営の確立							
目的・背景	木材価格の下落や山村地域の高齢化による後継者不足などにより、林業生産意欲が低迷しており、国の補助金を活用し森林整備を推進する。 また、愛媛県の造林事業補助金を利用して森林施業を実施した場合に経費の一部を補助し、育林を促し森林の持つ公益的機能の増大を図る。							
対象・内容	計画的かつ一体的な森林施業を実施する森林経営計画の策定地域を対象とし、森林組合等が造林事業を実施した場合、補助を行い施業の集約化と林業の活性化を図る。 ①経営計画策定、②造林事業着手 ③造林事業完了、④完成検査【県】 ⑤事業完成後、交付申請をする。、⑥補助金交付決定【県】 ⑦経費の一部補助した場所へ補植を行い、ツリーシェルターを設置する。							

2. 事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	農林水産業費	項	林業費	目	林業振興費
事業費/財源		令和5年度	令和6年度	令和7年度		主な経費(千円)【R6決算】	なし		0
予算(千円)	事業費計	0	0	0					
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源								
決算(千円)	事業費計	0	0			主な取組内容【R6】	なし		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源								
	(執行率)	0%	0%						
人役	正規職員	-	-	-		特記事項			
	その他	-	-	-					
	合計	0.0	0.0	0.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和6年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	補助金の交付	目標	0	0	0	0	なし		
		実績	0	0					
	現状維持	回	達成率	-	-				
		目標							
		実績							
			達成率						
事業評価	評価	その他							
	理由	なし							
課題	なし			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	森林組合等が造林事業をした時に助成する。		

令和7年度 松山市事務事業シート（令和6年度実績分）

部局等名	農林水産部	課等名	農林水産振興課	担当G	林業担当	連絡先	948-6567
------	-------	-----	---------	-----	------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	新たな森林経営管理制度推進事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	2:委託	
31316							
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	暮らしを支える地域経済を活性化						
施策	農林水産業の活性化		-	-	-	-	
主な取組	持続可能な農林水産業の構築	根拠法令	森林経営管理法、都市の木造化推進法				
取組みの柱	森林の整備と保全及び森林経営の確立						
目的・背景	平成31年4月から施行された森林経営管理法では、森林所有者に対し適切な経営管理を継続して行うように求めるとともに、市町村はその区域内の森林について適切な管理が行われるよう必要な措置を講ずること義務付けられ、森林所有者自ら経営や管理を行うことが困難な場合は、市で経営や管理を引き受けることで、森林の持つ多面的機能を発揮させていくこととなった。						
対象・内容	手入れが行き届いていない私有林の人工林を所有する森林所有者を対象に、所有する森林を今後どのように経営や管理をしていきたいかを把握するための意向調査を実施し、森林所有者自ら経営や管理を行うことが困難な場合は、市で管理が必要と判断した森林について、集積計画を策定して、間伐を行うなど適正な管理を行う。また、この森林経営管理制度を円滑に推進する中予森林管理推進センターの運営費を負担するほか、林業の担い手育成のための研修費や木材出荷支援、木材利用促進の補助金を交付する。						

2. 事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	農林水産業費	項	林業費	目	林業振興費
事業費/財源		令和5年度	令和6年度	令和7年度		主な経費(千円)【R6決算】	市管理森林の保育間伐委託料		41,227
予算(千円)	事業費計	188,175	148,878	167,820			木材出荷支援事業補助金		12,250
	国費・県費						中予森林管理推進センター負担金		9,912
	市債								
	その他	188,175	148,878	167,820					
一般財源					主な取組内容【R6】	・意向調査 ・経営管理権集積計画策定 ・市管理森林の間伐 ・林道補修 ・林業担い手育成支援 ・木材出荷支援 ・木材利用促進			
決算(千円)	事業費計	83,718	98,063						
	国費・県費								
	市債								
	その他	83,718	98,063						
	一般財源								
	(執行率)	44%	66%						
人役	正規職員	1.5	1.5	1.5		特記事項	担い手不足による間伐の実施が減少。補助金の申請が少なかった。		
	その他	1.4	1.4	1.4					
	合計	2.9	2.9	2.9					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和10年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和6年度)
	目指す方向性	単位						
活動指標	意向調査実施面積	目標	2400	3020	3640	5440	対象地としていたところに森林経営計画が立てられるなど、意向調査を取りやめたところの面積が減少した。	
		実績	2365	2901				
	累計で増	ha	達成率	94%	82%			
活動指標	市管理森林間伐面積	目標	100	100	100	100	集積後に間伐の発注をするため、期間が短くなったことと担い手不足による減少。	
		実績	44	72				
	現状維持	ha	達成率	44%	72%			
事業評価	評価	一部の取組は期待した成果をあげられなかったが、全体としては概ね順調						
	理由	意向調査で森林所有者の森林経営に関する意向を確認し、整備の必要な森林を集積して間伐を実施したことで森林の多面的機能の発揮に繋げることができたため。						
課題	本市が集積する森林が増えていくのに対して、間伐を実施する担い手が不足している。			今後の方向性	見直しを検討	左記の理由	意向調査や集積は計画的に進め、間伐は段階的に進められるよう担い手の確保・支援に努める。	

令和7年度 松山市事務事業シート（令和6年度実績分）

部局等名	農林水産部	課等名	農林水産振興課	担当G	林業担当	連絡先	948-6567
------	-------	-----	---------	-----	------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	森林環境整備基金積立事業		事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	1:直営	
31316								
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	暮らしを支える地域経済を活性化する							
施策	農林水産業の活性化			-	-	-	-	
主な取組	持続可能な農林水産業の構築		根拠法令	松山市森林環境整備基金条例				
取組みの柱	森林の整備と保全及び森林経営の確立							
目的・背景	本市の森林を適切に整備及び管理するとともに、林業振興を総合的に推進する。 平成31年4月から施行された森林経営管理法では、森林所有者に対し適切な経営管理を継続して行うように求めるとともに、市町村はその区域内の森林について適切な管理が行われるよう必要な措置を講ずることが義務付けられた。 そこで、森林整備を計画的に進めていくために同基金を設置した。							
対象・内容	本市の森林を適切に整備及び管理するなどの財源として、森林環境譲与税を基金に積み立てる。							

2. 事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	農林水産業費	項	林業費	目	林業振興費
事業費/財源		令和5年度	令和6年度	令和7年度		主な経費 (千円) 【R6 決算】	基金への積立金		104,920
予算 (千円)	事業費計	95,590	115,096	125,000					
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	95,590	115,096	125,000					
決算 (千円)	事業費計	94,076	104,920			主な取組 内容 【R6】	森林環境整備基金への積立		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	94,076	104,920						
	(執行率)	98%	91%						
人役	正規職員	-	-	-		特記 事項			
	その他	-	-	-					
	合計	0.0	0.0	0.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和6年度)	
	目指す方向性	単位							
活動 指標	基金の積立		目標	2	2	2	2	3月及び9月に譲与される森林環境譲与税をそれぞれ積立した。	
			実績	2	2				
	現状維持	回	達成率	100%	100%				
			目標						
			実績						
			達成率						
事業 評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	森林環境譲与税を適切かつ計画的に積み立てることで、森林経営管理制度などを推進することができた。							
課題	特になし。			今後の 方向性	現行のまま継続	左記の 理由	今後も森林経営管理制度を推進していくため森林環境譲与税を基金へ積立てる。		

令和7年度 松山市事務事業シート（令和6年度実績分）

部局等名	農林水産部	課等名	農林水産振興課	担当G	林業担当	連絡先	948-6567
------	-------	-----	---------	-----	------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	森林・山村多面的機能発揮対策事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	5:補助金・負担金	
31316							
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	暮らしを支える地域経済を活性化する						
施策	農林水産業の活性化		-	-	-	-	
主な取組	持続可能な農林水産業の構築	根拠法令	里山林活性化による多面的機能発揮対策実施要領				
取組みの柱	森林の整備と保全及び森林経営の確立						
目的・背景	森林の有する多面的機能を発揮するためには、適切な森林整備や計画的な森林資源の利用が不可欠であるが、林業の不振、山村地域の過疎化、高齢化により森林の手入れを行う地域住民が減少し、適切な森林整備等が難しい状況となっている。このため、地域住民、森林所有者、自伐林家等が協力して行う、里山林の保全や竹林整備、森林資源の利活用等への取組に対して支援を行う。						
対象・内容	森林・山村多面的機能発揮対策事業費補助金 補助額 ①活動推進費(初年度のみ):37,500円【うち、1/2県補助】 ②地域環境保全タイプ(侵入竹除去・竹林整備):1haあたり95,000円(初年度)、88,500円(2年目)、83,000円(3年目)【うち、1/2県補助】 支出先 公益財団法人 愛媛の森林基金(地域協議会)						

2.事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	農林水産業費	項	林業費	目	林業振興費
事業費/財源		令和5年度	令和6年度	令和7年度		主な経費 【R6 決算】	森林・山村多面的機能発揮対策事業費補助金		35
予算 (千円)	事業費計	150	36	78					
	国費・県費	74	17	38					
	市債								
	その他								
	一般財源	76	19	40					
決算 (千円)	事業費計	150	36			主な取組 内容 【R6】	関係団体への補助金交付		
	国費・県費	75	18						
	市債								
	その他								
	一般財源	75	18						
	(執行率)	100%	100%						
人役	正規職員	-	-	-		特記 事項			
	その他	-	-	-					
	合計	0.0	0.0	0.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和6年度)	
	目指す方向性	単位							
活動 指標	補助金の交付	目標	1	1	1	1	補助金を交付することで、適切な森林整備等を図ることが出来た。		
		実績	1	1					
	現状維持	回	達成率	100%	100%				
		目標							
		実績							
		達成率							
事業 評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	本事業の実施により、適切な森林整備等を実施することが出来た。							
課題	特になし			今後の 方向性	現行のまま継続	左記の 理由	今後も適切な森林整備等を図る。		

令和7年度 松山市事務事業シート（令和6年度実績分）

部局等名	農林水産部	課等名	農林水産振興課	担当G	林業担当	連絡先	948-6567
------	-------	-----	---------	-----	------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	市有林保育・管理事業		事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	2:委託	
31316								
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	暮らしを支える地域経済を活性化する							
施策	農林水産業の活性化			-	-	-	-	
主な取組	持続可能な農林水産業の構築		根拠法令					
取組みの柱	森林の整備と保全及び森林経営の確立							
目的・背景	森林の荒廃を 방지、森林の持つ水源かん養・土砂崩壊防備防備機能などの公益的機能を増進するため、松山市が所有する森林を適正に管理する必要がある。松山市が所有する森林を適正に保育・管理することで、森林の持つ多面的機能の向上を図るとともに森林の荒廃化を防止、住みよい環境を維持することを目的とする。							
対象・内容	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な巡視(委託先:松山流域森林組合) ・管理道の刈り払い(委託先:松山流域森林組合) ・間伐(委託先:松山流域森林組合) ・高縄山生活環境保全林の散策道等の除草及び清掃(委託先:公益財団法人 松山市シルバー人材センター) 							

2. 事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	農林水産業費	項	林業費	目	造林費
事業費/財源		令和5年度	令和6年度	令和7年度					
予算 (千円)	事業費計	3,135	5,602	5,808		主な経費 (千円) 【R6 決算】	間伐等の委託料		4,397
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	3,135	5,602	5,808					
決算 (千円)	事業費計	2,734	4,960			主な取組 内容 【R6】	巡視 散策道等除草及び清掃 管理道の刈り払い 間伐		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	2,734	4,960						
	(執行率)	87%	89%						
人役	正規職員	0.1	0.1	0.1		特記 事項			
	その他	0.0	0.0	0.0					
	合計	0.1	0.1	0.1					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和6年度)	
	目指す方向性	単位							
活動 指標	市有林の巡視	目標	684	684	684	684	市有林を巡視することで、適正な管理を図ることができた。		
		実績	684	684					
	現状維持	ha	達成率	100%	100%				
活動 指標	市有林の間伐	目標	2	2	2	2	定期的な間伐で、市有林の保育・管理を適正に実施し、健全な森林整備を図った。		
		実績	2	2					
	現状維持	ha	達成率	100%	100%				
事業 評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	市有林の適正な保育管理を実施し、水源かん養・土砂災害防止機能などの森林の持つ公益的機能の増大が図られているため。							
課題	特になし。			今後の 方向性	現行のまま継続	左記の 理由	今後も森林の公益的機能が発揮できるよう適正な保育・管理を実施していく。		

令和7年度 松山市事務事業シート（令和6年度実績分）

部局等名	農林水産部	課等名	農林水産振興課	担当G	植樹祭担当	連絡先	948-6568
------	-------	-----	---------	-----	-------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	全国植樹祭開催事業		事業性質	2:その他		事業区分	7:その他	
31316								
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	暮らしを支える地域経済を活性化する							
施策	農林水産業の活性化			-	-	-	-	
主な取組	持続可能な農林水産業の構築		根拠法令					
取組みの柱	森林の整備と保全及び森林経営の確立							
目的・背景	令和8年春期に、「第76回全国植樹祭」が愛媛県総合運動公園で開催される。全国植樹祭の愛媛県での開催は60年ぶりであり、この機会に多くの市民に緑化推進と森林の大切さを改めて理解を深めるための啓発を行う。							
対象・内容	多くの市民に緑化推進と森林の大切さを改めて理解を深めるため、令和8年春期に開催される、全国植樹祭のサテライト会場運営準備を進めるとともに、愛媛県が実施する啓発イベントに協力し、機運醸成を図る。							

2. 事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	農林水産業費	項	林業費	目	林業振興費	
事業費/財源		令和5年度	令和6年度	令和7年度		主な経費(千円)【R6決算】	委託料		2,178	
予算(千円)	事業費計	0	6,118	4,600			主な取組内容【R6】	使用料及び賃借料		659
	国費・県費							・松山市野外活動センターを会場にして、愛媛県植樹祭を開催した。 ・松山市民会館を会場にして、全国植樹祭関連イベント「こどもの森づくりフォーラム in えひめ」を愛媛県などと共催した。		
	市債									
	その他		6,118	4,600						
一般財源										
決算(千円)	事業費計	0	3,544			特記事項	広報活動を効率よく行えたため。			
	国費・県費									
	市債									
	その他		3,544							
	一般財源									
	(執行率)	0%	58%							
人役	正規職員		1.0	3.0						
	その他									
	合計	0.0	1.0	3.0						

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和6年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	全国植樹祭愛媛県実行委員会との打ち合わせ	目標		0	3	5	2	全国植樹祭愛媛県実行委員会と連携して機運醸成や諸準備を進めることができた	
		実績		0	5				
	現状維持	回	達成率	0%	167%				
		目標							
		実績							
		達成率							
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	全国植樹祭愛媛県実行委員会と連携して諸準備や啓発イベントを行っており、市民への緑化推進等への理解がより深まることが期待できるため。							
課題	市民への緑化推進等への理解がより深めるためには、多視点からの検証が必要とする。			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	現状を維持することで市民への緑化推進等への理解がより深まることが期待できるため。		

令和7年度 松山市事務事業シート（令和6年度実績分）

部局等名	農林水産部	課等名	農林水産振興課	担当G	総務・水産担当	連絡先	948-6492
------	-------	-----	---------	-----	---------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	農業施設等維持管理事業		事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	1:直営	
31322								
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	暮らしを支える地域経済を活性化させる							
施策	農林水産業の活性化			-	-	-	-	
主な取組	生産基盤と集落環境の整備		根拠法令	地方自治法・各施設条例及び条例施行規則				
取組みの柱	農村環境の保全及び農業用施設の長寿命化							
目的・背景	<p>島しょ部等にある農業施設を維持管理し、農業経営及び農家生活の改善並びに地域住民の交流活性化を図る。あわせて、農業用施設や農業用機械等の整備・修繕を行い、適正な状態に保ち、農業振興に貢献する。高度経済成長に伴う社会構造の変化と、都市農村間格差の顕在化など農業・農村を取り巻く状況の変化を反映し、時代や地域の特性に応じた農業に関する課題に取り組む必要があった。あわせて、農作業の効率化や農業の集落機能の維持を目的として、地域改善対策事業及び農村地域定住促進対策事業で、農業用施設や農業用機械等を取得した。</p>							
対象・内容	<p>・中山間地域総合整備事業ほか8種事業で取得した農業施設等 ・地域改善対策事業及び農村地域定住促進対策事業で取得した農業用施設や農業用機械等 農業経営及び農家生活の改善並びに地域住民の交流活性化を図ることを目的に、中山間地域総合整備事業ほか8種事業で取得した農業施設等の維持管理と、修繕の必要がある施設の修繕工事を随時実施。また、施設の消防点検を年2回、農業用機械のたな卸しを年1回実施。 条例を設置し、使用申請・許可制にて運営している。本事業に関するすべての経費は、市が負担している。 施設数は21施設(内訳:①集会所10施設 ②海の駅7施設 ③農村公園等4施設)</p>							

2.事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	農林水産業費	項	農業費	目	農業振興費	
事業費/財源		令和5年度	令和6年度	令和7年度						
予算 (千円)	事業費計	19,966	23,627	18,702			主な経費 (千円) 【R6 決算】	施設の光熱水費	8,297	
	国費・県費							施設の工事請負費	8,731	
	市債							施設を維持管理するための委託料	2,949	
	その他	1,071	943	967						
	一般財源	18,895	22,684	17,735						
決算 (千円)	事業費計	17,206	22,674				主な取組 内容 【R6】	地域住民と連携して、施設の適切な保全を行い、安全性の確保に努めた。		
	国費・県費									
	市債									
	その他	1,073	516							
	一般財源	16,133	22,158							
(執行率)	86%	96%								
人役	正規職員	1.7	1.7	1.7			特記 事項			
	その他									
	合計	1.7	1.7	1.7						

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和6年度)	
	目指す方向性	単位							
成果 指標	施設利用者数	目標	14000	14000	14000	14000	地域住民と連携して、施設の適切な保全を行い、安全性の確保に努めたため。		
		実績	25980	19008					
	現状維持	人	達成率	186%	136%				
		目標							
		実績							
		達成率							
事業 評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	地域住民と連携して、施設の適切な保全を行い、安全性の確保に努めたため。							
課題	経年劣化による施設の老朽化への対策。			今後の 方向性	現行のまま継続	左記の 理由	地域住民と連携して、施設の適切な保全を行い、安全性の確保に努める。		